

索
引
篇

歌語索引

あ

あかぎ(赤城) 六七

あかす(明かす)(サ四)

あかす(終止) 三三

あかつき(暁) 三〇・四三・四六・五〇・五三

あかつきがた(暁方) 四三

あかつきごと(暁毎) 四三

あき(秋) 一四七・四八・四九・五〇・五二・五五・

二五・二七・二八・二九・三〇・三二・三三・

三三・三四・三五・三六・三三・三五・三三・

三三・三四・三五・三六・三三・三五・三三・

三三・三四・三五・三六・三三・三五・三三・

三三・三四・三五・三六・三三・三五・三三・

三三・三四・三五・三六・三三・三五・三三・

三三・三四・三五・三六・三三・三五・三三・

三三・三四・三五・三六・三三・三五・三三・

四三・四九・四〇・四三・四四・五五・五六・
五九・五五・五八・五九・六〇

あきかぜ(秋風) 一五・一六・一七・一七・一五・

一〇・一八・一八・一六・一六・一六・一六・一六・

三〇・三〇・三〇・三〇・三三・三三・三三・三三・

三七・三六・三六・三九・三〇・四七・四三・

四六・四七・五七・五八・五八

あきごと(秋毎) 三三

あきた(秋田) 三〇

あきはぎ(秋萩) 一七・一八・一九・二二・二五・

三三・三六

あく(飽く)(カ四)

あか(未然) 三九・五九・一〇・一四・一四・一六・

三七

あく(終止) 五九

あく(明く)(カ下二)

あけ(運用) 二六・三二・三三

あくる(連体) 五九

あく(開く)(カ下二)

あけ(運用) 三三(「明け方とかける」・二六)

(「朝明」とかける)

あく(夕語法) ↓老いらく・なくに・まく

あけ(明け) ↓あさあけ・あさけ・ありあけ

あけ(朱) 六三

あけがた(明け方) 三三(「開け」とかける)・

三七(「開け」とかける)

あけはなれゆく(明け離行く)(カ四)

あけはなれゆく(連体) 三三

あけほの(曙) 三三

あさ(朝) 三〇

あさあけ(朝明) 三三(「開け」とかける) ↓

あさけ

あさ(すみ)朝霞) 三

あさがは(権・朝顔) 一六

- あさぎりがくれ(朝霧隠れ) 三三二
あさけ朝明(一六・三六一) → あさあけ
あさし(浅し)(形ク) 三三三
あさかり(連用) 三三三
あさけれ(已然) 四四二
あさぢ(浅茅) 三六〇・四七〇・四七六・四七九・五九六
あさぢはら(浅茅原) 四三〇・四三九・四四一・四四二・
四七三・五九〇
あさぢふ(浅茅生) 五九六
あさつゆ(朝露) 四三三
あさこいで(朝外出) 一三三
あさなあさな(朝な朝な) 四三〇・四四一・五二一・
三三三・四六六・五二二
あさひ(朝日) 二六二
あさひのみや(朝日の宮) 六五九
あさばらけ(朝朗) 一七五・六〇五
あさまだき(朝まだき) 二五三
あさみどり(浅緑) 二四
あさる(ラ四)
あさる(連体) 四四
あし(足・脚) 五七九
あし(蘆葦) 三〇七・三〇八・三二二・三九五・五七九・六三三
あしがも(蘆鴨) 三六八
あしすだれ(蘆簾) 四七九
あした(朝) 三九
あしたづ(蘆田鶴) 二六六・三三三・四六三・六〇六
あしたのはら(あしたの原) 二〇
あしのや(芦の屋) 三九四
あしびきの(枕) 二二〇・二二五・二二七・三三三・三三三・
三三三・三三三
あしま(芦間) 三〇九
あす(明日) 二二六
あす(浅す)(サ下二) 二
あせ(連用) 六六三
あだごと(徒事) 五五五
あだしの(徒野) 三六〇
あだなり(徒なり)(形動ナリ)
あだに(連用) 八・二九・五五四
あだなる(連体) 一〇一・二六・四八六・四七三
あだびと(徒人) 五五五
あたり(辺) 一八・六六
あつさゆみ(枕) 五九七
あつまち(東路) 三六・四四三
あつまる(集る)(ラ四)
あつまれ(已然) 六六六
あと(跡) 一六〇・三三三・四六六・四七三・四七三・五三三・
六〇五・六六六・六四七
あな(感動) 五七三・六〇五・六三〇
あはぢしま(淡路島) 三九一
あはゆき(淡雪) 二〇
あはれ(哀)(感動) 三三八・三九一・五四八・五四九・
五五〇・六〇五
あはれなり(哀なり)(形動ナリ)
あはれ(語幹) 一〇〇・一〇〇・三三九・四四四・四四〇・
三三六・五七九・五七九・六〇六・六〇九
あはれなり(終止) 五七五・五七五
あはれなる(連体) 二四八・六〇七
あひ(合ひ) ↓しほあひ
あひ(逢ひ) ↓ゆきあひ
あひぢごく(阿鼻地獄) 六二五
あひみる(相見る)(ラ上二)
あひみ(未然) 五〇一
あふ(合ふ) 二六四
あは(未然) 四四二 (逢ふとかける) ↓し
をれあふ
あふ(逢ふ)(ラ四)
あは(未然) 三三三・四四一 (合ふとかける)
四四四・四四四・四四四
あひ(連用) 四四七
あふ(連体) 一六九・三二九・四四四・四四六・四四六・
四八八・五五五
↓ゆきあふ

索引

- あふ(敢ふ)(下下二) 一六七
- あ(未然) 二五三・四六
- ↓おきあふ・きえあふ・せきあふ・ほし
- あふ
- あふぐ(仰ぐ)(方四) 四三
- あふぎ(連用) 三三
- あぶくまがは(阿武隈川) 四六
- あふさか(逢坂) 四二・五四・五五・五八
- あふさかのせき(逢坂の関) 三三・五三・五七
- あふひぐさ(莢草) 四四・六五
- あま(海人・蟹) 一七・二五・二七・六九・七〇
- 三九・五九・六四
- あまぐも(天雲) 六三
- あまごころも(枕) 四三
- あまた(数多) 二七
- あまつそら(天つ空) 二五
- あまとぶ(天飛ぶ)(八四) 一七・四八
- あまとぶ(連体) 三九・四九
- あまのいはせ(天の岩瀬) 六七
- あまのがは(天の川) 一四・二六・六九・七〇
- あまのかはら(天の川原) 一五・二六・二七・二七・四八
- 一七・四八
- あまのと(天の戸) 三三・七〇
- あまのはごろも(天の羽衣) 一六七
- あまのはら(天の原) 一・七・三〇・三〇・三七
- 三三・四四・四七・四八
- あまる(余る)(ラ四) ↓しのびあまる
- あまをぶね(海人小舟) 三三
- あめ(雨) 四六・六〇・六二・六九・七〇・七〇・七九
- 六九・七〇 ↓はるさめ・むらさめ
- あやなし(文無し)(形ク)
- あやな(語幹) 八二・四二・九二・九四
- あやめ(菖蒲) 三九
- あやめぐさ(菖蒲草) 三三・三三
- あらいそ(荒磯) 五〇・五〇
- あらし(嵐) 八二(嵐の山)とかける・一〇・二二
- 二二・二四・三〇・三三・三三・三六・四六
- 四六・五七
- あらし(疎し)(形ク) ↓もとあらし
- あらしのやま(嵐の山) 八二(嵐とかける)
- あらみ(疎み) 四七
- あられ(敷) 三三・三三
- あり(有り)(ラ変)
- あり(未然) 三・二九・三三・三四・六九・三二
- 三六・三六・三七・四〇・四四・四三
- 四九・四八・四八・四八・五〇・五二・五二
- 五二・五九・六三・六四・六四・六六・六三
- あり(連用) 一八・二二・二七・二八・三三・三七・四三・四三・五三・五三・五三・五三
- 五三・六九・六二・六三・六三・六四・六二
- 六三・六九
- あり(終止) 四八〇・五四四・六〇・六〇・六〇
- あり(連体) 五八・五八・五八・五三・三三・三〇
- 三九・三四・三六・四二・四八・四六二・五五
- 五五・六四・六六
- あれ(已然) 二九・二七・五三・五八・五九
- 六六・六〇・六二・六二・六四・六〇・六六
- 六六・六四
- ありあけ(有明) 二二・二八・三四・四七・二七
- 三七・六七
- ありそのうみ(有磯の海) 五〇
- ある(荒る)(下下二)
- あれ(連用) 三・三三・六二・三四・四六・四六
- 四七・四九・六〇
- あるじ(主) 六・六
- あわ(泡) 八・八・七・三三・四四 ↓みなわ
- あゐ(藍) ↓はつやまあゐ
- あをによし(枕) 四
- あをやぎ(青柳) 二〇・三三・四二

い

- い(寝) 五三
 いか(如何) 三三・四三
 いかで(副) 六四七
 いかなる(如何なる) 三四六・四五
 いかに(如何に) 一〇・三六・三七・五五・五六
 いくか(幾日) 一〇〇・二九
 いくかへり(幾返) 六四八
 いくそ(幾十) 五五
 いくそたび(幾十度) 四九
 いくちよ(幾千世) 三六五
 いくひささ(幾久さ) 五六
 いくへ(幾重) 三三・三〇・六五
 いくよ(幾世) 三三・四三・四四・四七・五六・
 五〇・五七・五八・五九・六五
 いくよ(幾夜) 五三・五七
 いけ(池) 三三・三九・二〇・二九
 ↓おほさはのいけ・はらのいけ
 いこまのたけ(生駒の岳) 三三
 いざ(副) 四九
 いざ(副) 四四
 いざりび(漁火) 三三
 いし(石) 五〇
- いしかは(石川) 三六
 いしはしる(枕) 四四
 いしま(石間) 四四
 いせ(伊勢) 三三・三四・五五
 いせしま(伊勢島) 二六・三六
 いそ(磯) 三六・五五・五六・四一 ↓あらいそ
 いそのかみ(枕) 四〇・五三・五九
 いそべ(磯辺) 三三・五七
 いそべのやま(磯辺の山) 五〇
 いそらがち 五〇
 いたし(甚し)(形ク)
 いたく(連用) 一九・三七・四一・二二・七四・六三
 いたく(連用) 三〇・四四・三九・四一・三九・四四・五六
 いたづらなり(徒なり)(形動ナリ)
 いたづらに(連用) 一八・三〇
 いたびさし(板庇) 五七
 いたみ(甚み) 四八
 いたや(板屋) 四三
 いたみ(板井) 三四
 いち(市) ↓たつのいち
 いちし(一志) 五〇
 いちしのうら(一志の浦) 二九
 いつ(何時) 二八・三三・三二・四九・五九・六五
 いづ(伊豆) 三六・三九・四三
- いづ(出づ)(タ下二)
 いで(未然) 三九・三三・三五・六七・六五
 いで(連用) 四三・二七・一九・一八・六一・
 三三・四〇・四二・四六・四九・六二
 いづ(終止) 一三・四四
 いづる(連体) 一八・三七・六四・六四
 ↓おもひいづ・こぎいづ・たちいづ・な
 がれいづ・もえいづ
 いづかた(何処方) 二四
 いづく(何処) 六〇・六七
 いづのくに(伊豆の國) 六三
 いづら(副) 四四
 いづれ(何れ) 一三・三九・五六
 いで(出) ↓あさといで・おもひいで
 いでく(出来)(カ変)
 いでくる(連体) 四四
 いと(糸) 三三・四三・三六・七六
 いと(副) 一〇・五九
 いとかのやま(絲我の山) 三三
 いとけなし(形ク)
 いとけなき(連体) 三九
 いとふ(厭ふ)(ナ四)
 いとひ(連用) 三三
 いとほし(形シク)

いとほし(終止) 六六

いとま(暇) 三三

いなば(稲葉) 三七・三六・三三

いなばのやま(因幡の山) 六三九(往なはと
かける)

いなりのみや(稲荷の宮) 三二〇

いにしへ(古) 一三九・五九六・五九五・六三九

いぬ(往ぬ)(十変)

いな(未然) 四四三・六三九(因幡)とかける・
五〇

いぬ(終止) 二七五

いのち(命) 四七

いは(岩) 七二・四七五・五七五

いはがきぬ(岩垣沼) 四九〇

いはがね(岩ヶ根) 五三三

いはせ(岩瀬) 一あまのいはせ

いはたのもり(岩田の杜) 四二二

いはなみ(岩波) 四四四・四四四

いはね(岩根) 三三六・六三三

いはは(巖) 五二

いはま(岩間) 七

いふ(言ふ)(八四)

いは(未然) 一四〇・四二二・四四三・五〇六・六〇〇・
六〇九・六〇九・六三六・六三七・六六一

いひ(連用) 三六九・四九六・五八六・六一・六二六・
六四三・六四四

いふ(終止) 五五五

いふ(連体) 六〇〇・六五八・六

いへ(已然) 六〇一

いへ(連体) 六〇一

いへる(家居) 七三三

いほ(庵) 三三三・三三三・三三三・三三七・三三三

いほり(庵) 三三九・三三七

いま(今) 五八六・一〇〇・一〇七・二八〇・四三六・四三六・
四三三・四三六・六三三・六三三

いまさらなり(今更なり)(形動ナリ)

いまさら(連用) 四二五・四七九

いまだ(未) 一八九・六三六

いも(妹) 三〇三・三九六・四八五・四九一

いもがしま(妹が島) 二九

いりあひ(入相) 一三三・三三三

いりえ(入江) 三六八・五二一

いる(入る)(ラ四)

いり(連用) 五九・三六

いる(連体) 六三三

いる(入る)(ラ下二)―せきいる・ぶきいる

いろ(色) 二二三・三三六・三三九・三三九・三三九・
三六六・三六七・四〇九・四二〇・四三三

いろづく(色付く)(カ四)

いろづき(連用) 二二〇・二二六・二二六・二二六

う

う(鵜) 五九

うう(植う)(ラ下二)

うあ(連用) 一〇九

うかぶ(浮ぶ)(カ四)

うかぶ(連体) 一四〇・二七〇・三〇三

うきくさ(浮草) 三六

うきぐも(浮雲) 四四〇・四四〇(裏きとかける)

うきしづむ(浮沈む)(マ四)

うきしづみ(連用) 四四三

うきたのもり(浮田の杜) 四九六

うきね(浮寝) 五七〇

うきは(浮葉) 一四六

うく(浮く)(カ四)

うき(連用) 三三六・六・四四四・五九六・五九六・六〇三
〔裏き〕とかける

うぐひす(鰯) 四・六七・三・四・六・七・五九

うけなは(浮子繩) 一三三

うし(憂し)(形ク)

うかり(連用) 三三

- うし(終止) 六〇九
うき(連体) 三六九・四〇〇・四三〇(浮雲)とかげ
(ち・昔〇・今〇・去〇)「浮き」とかげ・今〇・去〇
↓こころうし・すみうし
うすし(薄し)〔形ク〕
うすく(連用) 三三〇・三三三
うすし(終止) 二〇四・二〇四
うすき(連体) 三三六
うすみ(薄み) 三三三
うたたね(転寝) 二〇四・二〇四
うち(内) 三三一
うち(宇治) 三〇〇・四三三
うちいでのはま(打出の浜) 三〇四
うちがは(宇治川) ↓やそうちがは
うちそぼつ(夕四) 三三三
うちそぼち(連用) 三三三
うちそよぐ(夕四) 三三三
うちそよぎ(連用) 三三三
うちたゆ(打ち絶ゆ)〔ヤ下二〕
うちたえ(連用) 六七〇
うちつけなり(形動ナリ)
うちつけに(連用) 三三〇
うちながむ(打ち眺む)〔マ下二〕
うちながめ(連用) 一五五
- うちなびき(枕) 六
うちなびく(打ち靡く)〔カ四〕
うちなびき(連用) 一五二・二九六
うちはふ(打ち延ぶ)〔ハ下二〕
うちはへ(連用) 一五〇・四六六・五五
うちはらふ(打ち払ふ)〔ハ下二〕
うちはらふ(連体) 六
うちひさす(枕) 三三三
うちわする(打ち忘る)〔ラ下二〕
うちわすれ(連用) 三三三
うつ(宇津) 六三六
うつ(打つ)〔夕四〕
うつ(終止) 二五二・四六六・四七二・四九
うつ(連体) 二四六
うつし(遷し) ↓みやうつし
うつせみ(空蟬) 三三三・四六六・四九
うつつ(現) 一四・三三三・六二〇
うつら(鞠) 三三六・三三六
うつる(映る)〔ラ四〕
うつる(連体) 六四
うつろひゆく(移ろひ行く)〔カ四〕
うつろひゆけ(已然) 一三三
うつろふ(移ろふ)〔ハ四〕
うつろは(未然) 二〇・二六
- うつろひ(連用) 一五九・三三三
うつろふ(連体) 六六・七二〇・三三六・三二
三三三・三三三
うとし(疎し)〔形ク〕
うとき(連体) 六三三
うのはな(卵の花) 四〇〇
うはかせ(上風) 四一
うはげ(上毛) 三六
うはたまの(枕) 三三三
↓ぬばたまの・むはたまの
うばたまや(枕) 六三三
うはのそら(上の空) 四三三・四三三
うへ(上) 三二・一四六・一五二・一九三・三九三・四〇
三三三・三三三・三三三・四三三・四三三・四三三
三三三・三三三・三三三
うへ(眞) ↓むへ
うみ(海) 三三三・三三三・三三三・三三三・三三三
↓ありそのうみ・おほうみ・わたつうみ
うめ(梅) ↓むめ
うら(浦) 一三三・三三三・三三三・三三三
↓いちしのうら・かたみのうら・しほが
まのうら・すまのうら・たこのう
ら・たこのうら・みくまののうら・
むこのうら

うら(裏) 二三〇(恨む)とかける・三〇〇・五七〇・五七二)う

ら悲しとかける

うらかぜ(浦風) 三三二

うらがなし(形シク)

うらがなし(終止) 三三〇

うらがなしかる(連体) 五七〇(裏)とかけ

る

うらさびし(形シク)

うらさびし(終止) 三三二

うらなみ(浦波) 八八

うらぶる(ラ下二)

うらぶれ(連用) 四〇六・五八

うらぶれをり(うらぶれ居り)(ラ変)

うらむ(恨む・怨む)(マ四) 四〇七

うらみ(未然) 五〇五

うらみ(連用) 三三五(裏見る)とかける

四六

うらむる(連体) 五・四四九・四七〇

うり(瓜) 五三三

うる(売る)(ラ四)

うる(連体) 四八八

うれ(末) 三六一

うれは(末葉) 三三三

え

え(枝) 二・三六八・六八一

え(江) ↓いりえ・たまえ・みしまえ

え(副) 六四〇

えだ(枝) 三三六・三八 ↓ひとえだ

えにし(縁) 二六九

お

おいらく(老いらく) 三三七

おき(沖) 六三三・六三九

おきあふ(置敢ふ)(ハ下二)

おきあへ(未然) 四三三

おきつしま(沖つ島) 五八

おきつなみ(枕) 五〇四

おきな(翁) 三三六

おきふす(起伏す)(サ四)

おきふし(連用) 六四六

おきまさる(置勝る)(ラ四)

おきまさる(終止) 二八八

おきめる(起居る)(ワ上二)

おきめる(連体) 四三三

おく(奥) 三三三・三三三・四三三・四三七・五〇二・六〇二

おく(置く)(カ四)

おか(未然) 三六八

おき(連用) 一七〇・三三〇・三六〇・三九九・五〇九・

三三〇・四〇八・四三八・四四四・四四四・五三三・五三九・

六〇三・六三三

おく(終止) 二五九・二六九・四六四

おく(連体) 一六・一七・一七・一七・一七・二二・

三三三・三六七・三〇七・三〇八・三三三・三三三・三六四・

三六七・四二七・四〇六・四二七・四二七・五二六・五三三・

五五六・六四〇

↓しめおく・とどめおく

おくやま(奥山) 二六六・三三〇・三三六・三三八・四〇二・

四〇三・四四〇・四四九・五五六・六四〇

おしなへて(副) 三三

おしなむ(押靡む)(マ四)

おしなみ(連用) 一五五

おつ(落つ)(タ上二)

おち(連用) 四〇〇

おつる(連体) 六一

おと(音) 四四・二五・二八四・三三三・四四四・四四九・四四三

・四四九・五八六・六三三

おとす(音す)(サ変)

おとす(終止) 七一

おとはがは(音羽川) 四九

おとはのたき(音羽の滝) 四三三

おとはやま(音羽山) 三三三

おどろく(驚く)〔カ四〕

おどろか(未然) 五五〇

おどろく(終止) 六三三

おなじ(同じ) 四三三・四六一

おのが(己が) 四四・二九四

おのおの(各) 六六六

おのづから(自ら) 一〇三・一五六・二七二・三三九・三五六

三五六

おのれ(己) 三六・四〇・四四・四九

おひかはる(生ひ変る)〔ラ四〕

おひかはる(終止) 三九九

おふ(生ふ)〔ハ上二〕

おふ(終止) 三五六

おふる(連体) 六・四六・三六・三六・三六

おふ(負ふ)〔ハ四〕

おは(未然) 四四・五四

おほあらし(大荒木) 四九六

おほあらし(大荒木野) 三九六

おほうちやま(大内山) 二

おほうみ(大海) 四一

おほかた(大方) 三・二六・二八・二八

おほきみ(大君) 六一

おほさはいけ(大沢の池) 二九

おほし(多し)〔形ク〕

おほく(連用) 六

おぼつかなし(覺束無し)〔形ク〕

おぼつかなき(連体) 一四・七一

おははら(大原) 三九・三三

おぼゆ(覺ゆ)〔ヤ下二〕

おぼえ(未然) 三二・四三

おぼゆる(連体) 六

おぼろづきよ(朧月夜) 六

おぼろなり(朧なり)〔形動ナリ〕

おぼろに(連用) 五一

おぼろのしみづ(朧の清水) 五三

おほめがは(大井川) 一〇七

おも(面) 四四・六〇 ↓をてもこのも

おもかけ(面影) 四三

おもひ(思ひ) 四九・四〇・四〇 (ひ)を火に

かける・四〇

おもひいづ(思出づ)〔ダ下二〕

おもひいで(未然) 四四

おもひいで(連用) 四三・六二・五九・五九

おもひいで(思出) 三三

おもひそむ(思染む)〔マ下二〕

おもひそめ(連用) 四一

おもひたゆ(思絶ゆ)〔ヤ下二〕

おもひたえ(連用) 四七

おもひね(思ひ寝) 一五

おもひみだる(思乱る)〔ラ下二〕

おもひみだれ(連用) 三三・三三

おもひわたる(思渡る)〔ラ四〕

おもひわたら(未然) 三八

おもひをり(思居り)〔ラ変〕

おもひをれ(已然) 一六

おもふ(思ふ)〔ハ四〕

おもは(未然) 七〇・五一・四〇・六三

おもひ(連用) 三六・四四・五三・五三・四〇

三〇・六三・六三

おもふ(終止) 一八・四八・五七・六七

おもふ(連体) 五七・二五・四〇・一七・二〇

三〇・三二・三四・三九・五〇・七一・四四

三〇・三三・三七・三九・三九・三九

三六・四九・四〇・四三・四八・四九

五〇・五〇・五〇・五〇・五〇・五〇・五〇

おもへ(已然) 三九・三九・四〇・三三・三三

おもへ(命令) 三三・三三・三三

おもほゆ(思ほゆ)〔ヤ下二〕

おもほゆる(連体) 五〇・五八

おもみ(重み) 六二・五三・三八

おや(親) 六〇・六〇

おやま(御山) 三六六・四二五
おゆ(老ゆ)(ヤ上) 二

おい(未然) 三六

おい(連用) 五〇・五二・五八・五九・五七

おり(織) ↓こけおりぎぬ

おりかく(織掛く)(カ下) 二

おりかく(終止) 二六三

か

か(香) 一四・二五・七・三・三・三九

か(係助) 一三・三〇・三三・三六・八四・四・六・二〇・

二八・三九・三九・三三・二五・二五・二五・

一八・三九・三四・三五・三八・二七・二八・

三五・三七・三五・三七・三七・三六・三六・

四〇・四五・四三・四二・四四・四七・四四・

四九・五〇・五八・五〇・五五・五八・五〇・

五九・五七・五八・五九・五九・五七・六〇・

か(終助) 一〇・二五八・二七・二二・三三・三〇・

三九

か(格助) 一一・三三・五・七・七・二六・三九・三六・

・五九・三三・三三・九・二〇・二〇・二九・二九・

一八・一八・一八・一三・三九・三〇・三三・

二六・三九・三七・三〇・三四・三九・三六・

三三・三九・三九・三七・三四・四二・四〇・

四四・四三・四三・四五・四四・四六・四七・

四八・四八・四八・四八・五〇・五〇・五二・

五〇・五二・五三・五九・五〇・六三・六四・

六五・六五・六〇・六三・六三・

↓いはがね・いもがしま・おのが・ひは

らがみね・ゆつきがたけ

か(接助) 一八

かがまる(屈まる)(ラ四)

かがまれ(已然) 五九

かがみ(鏡) 六四 ↓ますかがみ

かかる(斯かる) 五五・六四

かかる(懸る)(ラ四)

かかる(連体) 四一七

かかれ(已然) 三七

↓くれかかる・ちりかかる

かき(垣) ↓いはがきぬ・たまがき・みづ

かき(掻き) ↓はねがき

かきくらす(かき暗す)(サ四)

かきくらし(連用) 四

かきくらす(連体) 四三

かきつばた(杜若) 一八

かぎり(限り) 二七四・五七・五七・七〇・六四・

四九

かく(斯く) 三三・三四・四八・五〇・五九・〇九

↓かかる・とにかくに

かく(撥く)(カ四)

かく(連体) 三九

かく(掛く)(カ下) 二

かけ(未然) 一五

かけ(連用) 二四・二六・三三・三三・四四・五五

↓おりかく・ぬぎかく

かくる(隠る)(ラ下) 二

かくれ(連用) 三三

↓くもがくる・こがくる・たちかくる・

みがくる・ゆきかくる

かくれ(隠れ) ↓あさきりがくれ・こが

くれ・このしたがくれ・はがくれ・

みやまがくれ・やへぐもがくれ

かくれが(隠れ家) 五八

かくれぬ(隠れ沼) 三五

かくろひゆく(隠ろひ行く)(カ四)

かくろひゆけ(已然) 五〇

かげ(影) 三三・三五・三七・三九・四五・三六・三九

・四〇・四二・三六・三六・四九・五二・六四・

かぎ(薩) 六六二

かたやまかげ・とかげ・やましたかかげ

かげろふの(枕) 三七七

かごのわたり(籠の渡) 四六六

かささぎ(鶺鴒) 一三三・二五九・三六六

かさし(挿頭) 三五三

かざす(挿頭す)(サ四)

かざさ(未然) 六四〇

かしこし(畏し)(形ク)

かしこき(連体) 六三三

かしこみ(畏み) 六六六

かしは(柏) ↓はがしは

かしら(頭) 三三七・五五九

かす(貸す)(サ四)

かさ(未然) 四九六・四九八

かず(數) 一四六・二〇七・三六六・四〇〇・五〇六

↓ひかず

かすがの(春日野) 九

かすがやま(春日山) 八

かざごと(數毎) 六三三

かすみ(霞) 二・二九・三〇・三三・六六・四〇〇・四三三

六四〇 ↓あさがすみ・はるがすみ

かすみ(霞む)(マ四)

かすみ(連用) 一

かすむ(連体) 三三・五三六・五三九

↓ちりかひかすむ

かせ(風) 三三・二六・五〇・六六・六七・七三・七五・七六

五七・七三・六六・八九・九三・九七・九五

一八・二六・三四・二九・二九・二九・三六

三四・三〇・三五・三七・二六・三四・三五

四四・四九・四九・四二・四九・四七・四六

五九・六四・六三

↓あきかせ・うはかせ・うらかぜ・かは

かせ・かみかせや・しほかせ・はか

せ・はつかせ・はまかせ・はるかせ

まつかせ・やまかせ・やましたか

せ・ゆふかせ

かた(方) 五七・五七(瀟)とかける(六〇)

↓あかつきがた・あげがた・いつかた

かた(瀟) 三五・五七(方)とかける

↓なにはがた

かたしき(片敷) 三三・三〇・三三・三九・三二

かたしく(片敷く)(カ四)

かたしき(連用) 五四

かたしく(連体) 三三

かたそぎ(片削) 四七

かたぶく(傾く)(カ四)

かたぶき(連用) 一三・三六・三六・四六

かたみ(形見) 二〇九・二五・四七

↓むかしがたみ・わすれがたみ

かたみ(筐) 九(昔形見とかける)

かたみ(難み) ↓わすれがたみ

かたみのうら(形見の浦) 二九

かたる(語る)(ラ四)

かたる(終止) 五九

かたやまかかげ(片山蔭) 六

かたをか(片圍) 二〇・七九

かちびと(徒人) 五三

かつ(且) 六六・六二

かつしか(葛飾) 五九

かつら(鬘) 六三三

かつらぎ(葛城) 四六・三三・四七

かつらきやま(葛城山) 三〇

かて(名) 三六

がてに(接尾) ↓すぎがてに

かど(門) 三〇

かどた(門田) 三六

かな(終助) 四七・九六・九六・九六・九六・三三

一三三・三三・三四・三〇・三三・三三・三六

三七・三五・三三・三四・三四・三九・三九

三九・四〇・四〇・四六・四七・四七・四〇

かなし(悲し)(形シク) 五九・三二・三六・三三・五〇・六一・五六・
六七・三三・三三・六一

かなし(終止) 四三・七五・一四三・三三・五五・
五七・五七・六〇

かなしき(連体) 一四四・一九・三〇七・二六六・
三〇三・三三・五〇・五九

↓うらがなし

かなしき(悲しき) 五九

かならず(必らず) 二二・三三

がに(接助) 六三

かぬ(兼ね)(ナ下二) 二

かね(未然) 三〇〇 ↓わすれかぬ

かね(鐘) 一五三・二四三・三〇

かねて(予) 四六

かは(川) ↓あぶくまがは・あまのがは・

おとはがは・おほるがは・しかまが

は・せみのをがは・たつたがは・た

つたのかは・たにがは・たまがはの

さとのとせがは・ひろせがは・み

たらしがは・みもすそがは・やそ

ちがは・やまがは・よしのがは・を

がは

かは(係助) 六八

かはかせ(川風) 八五・一〇三・一四七・三九
かはせ(川瀬) 一〇二・一三三・一六九・三〇三・六四・
六五

かはづ(蛙) 三三・三三

かはなみ(川波) 一〇三・四九・五四

かは(川辺) 一〇

かはら(川原) 一六三・四四・二九三

↓あまのかはら

かはりゆく(変り行く)(カ四)

かはりゆけ(已然) 五八

かはる(変る)(ラ四)

かはら(未然) 三六

かはる(終止) 三三

かはる(連体) 四三

↓おひかはる

かひ(交) ↓はがひ

かひ(効・甲斐) 五三・五八

かふ(交ふ)(ハ四) ↓ちりかひかすむ・ち

りかふ

かふ(換ふ)(ハ下二)

かへ(連用) 二六

かふ(終止) 一七

↓ぬぎかふ

かへす(返す)(サ四) ↓ふきかへす

かへり(返り) ↓いくかへり
かへりく(帰来)(カ変)

かへりくる(連体) 六九(原本かへくる)

とある

かへる(帰る・返る)(ラ四)

かへら(未然) 三三・四〇

かへる(連体) 五七・七三

かへれ(已然) 四三

↓きえかへる・たちかへる・わきかへる

かま(籠) ↓すみがま

かみ(上) 六一

かみ(神) 三三・三三・四七・六八・六三・六四・
六五

かみ(髪) ↓くろかみ

かみかせや(枕) 六五

かみさぶ(神さぶ)(ハ上二)

かみさび(連用) 五九・六四・六五

かみすぎ(神杉) 三六

かみたち(神達) 五三・六八

かみつけ(上野) 六五

かみなづき(神無月) 三三・三七・三六・
三六・三三

かみなびのもり(神南備の杜) 三九

かみなびやま(神南備山) 一五

かみやま(神山) 二六・四三・四四

かみよ(神代) 三七

かめ(瓶) ↓こがめ

かも(賀茂) 八五・四九・六三

かも(鴨) 三六・五〇 ↓あしがも

かも(終助) 四七・五二・六二・四二

かもめ(鷗) 五〇・六三

かや(萱) 三三 ↓かるかや

かやはら(萱原) 四七

かよふ(通ふ)(ハ四)

かよは(未然) 三三・五〇

かよふ(連体) 二五〇・三九・六〇・六

から(格助) 四〇

からごろも(唐衣) 一九・三三・三六・四〇・六三

からさき(唐崎) 二四・三〇・三

からやしう(唐社) 六四

かり(雁) 三〇・四二・三七・三九・三〇・三二・三三

・三五・三七・三六・三九・三〇・二六・三三

・三三・三四・四四・四三・四六・四七・五五

六三・六〇 ↓はつかり

かり(仮) 四七(刈り)とかける

かりがね(雁がね) 三六・三八・三三・三四・四三

かりごもの(枕) 五三

かりごろも(狩衣) 五五

かる(刈る)(ラ四)

かり(連用) 四七(刈り)とかける

かる(連体) 三三・三七・三九

↓たまもかる

かる(借る)(ラ四)

かる(連体) 五九

かる(枯る)(ラ下二)

かれ(連用) 二六・三六・二九

かるかや(刈萱) 一九

かれがれなり(離々なり)(形動ナリ)

かれがれに(連用) 四九

かをる(薫る)(ラ四)

かをる(連体) 二六・三六・四〇

き

き(木) 四三(さつ木)でたつき方法とかける

↓きぎ・くさき・くちき・くろき・ちぎ

・まろきばし・むろのき

き(来) ↓ゆきき

き(助動)

き(終止) 一一・二五・五一・七七・四四・四〇

四六・五九・三三・六三

し(連体) 五・三・三六・四・五・六〇・七〇・九

八・二二・三三・四四・八七・一一・二七・三〇・二五

・一六・二五・一〇・八一・三二・三七・二六

三七・三六・三九・四〇・四五・四九・四三

四三・四六・四八・四三・四九・四九・四三

四三・四六・四七・四七・四九・五〇

五五・五七・五八・五九・五九・五九・五九

六三・六六・四五・五三

しか(已然) 二二・二五・二四

きえあふ(消敢ふ)(ハ下二)

きえあへ(未然) 三〇・三〇

きえかへる(消返る)(ラ四)

きえかへり(連用) 四三

きぎ(聞き) 六五

きぎ(木木) 八七

きぎす(雉子) 四・四

ききわたる(間渡る)(ラ四)

ききわたり(連用) 三三

きく(菊) 三三・三六

きく(企救) 三六(聞く)とかける・五九

きく(聞く)(カ四)

きか(未然) 七・二二・二六・四一

きき(連用) 三三・四六・四九・四三・四三

六二

きく(終止) 一一・三三

きく(連体) 四三・四三・四六・三九(企

救「とかけると」五九三・三二七

きけ(已然) 一四・三三三

きこゆ(聞ゆ)(ヤ下二)

きこえ(未然) 四四

きこゆる(連体) 三六

きし(岸) 一〇三・一〇三・一〇四・一〇八・一〇九・一一・五二・五六・

五九

きたののみや(北野の宮) 六五

きなく(来鳴く)(カ四)

きなか(未然) 一三

きなく(連体) 二四・四〇〇

きぬ(衣) ↓こけおきぬ

きのくに(紀の国) 一七

きのふ(昨日) 一五・二五・三三

きは(際) ↓みぎは

きみ(君) 三六・四・五三・五四・五九・六三・六九・

四二・四七・五〇・五二・六六・六六・六三

↓おほきみ

きやう(形) 六七・六七 ↓そんぎやう

きゆ(消ゆ)(ヤ下二)

きえ(未然) 六八

きえ(連用) 七九・七九・七九・七九・七九・七九・

四〇・四〇・四三・四三・四三・四三・四三・

五三

きゆれ(已然) 四八

きよし(清し)(形ク)

きよき(連体) 三三・三七

きよけれ(已然) 三三

きよみ(清み) 二〇・二四・二九・二九・六六・

六六・六六

きり(霧) 一六・二六・三三・三六・三三・三七

↓あざきりがくれ・ゆふざきり

きりぎりす(葦) 一六・二六・二八・二九・五七・

六九

きる(着る)(カ上一)

き(連用) 一七九(き来)とかけると(一〇)き

↑来↑とかけると(四八)「き来」とかけると

・六九

く

く(来)(カ変)

く(未然) 四・五・七・四二・四六・四五・四六・

四三・四七・四七・六六

く(連用) 一・三・三〇・三三・三六・七九・

一五・一五・一五・一五九・一六〇・一六一・一六五・

一七九(着る)とかけると(一〇)「着る」とかけ

ると(七五・七六・六五・六六・六七・四三・

四六・五七・五八・五八・五五・六二・六六・

五三・六四(着るとかけると)

く(終止) 五三

くる(連体) 二七・五六

くれ(已然) 一四・三三・三七

↓いでく・かへりく・こえく・さそひく・

さりく・しのぎく・しのびく・すく

しく・たちく・たづねく・たのめく・

ながめく・にはひく・ふきく・をし

みく

くぐる(潜る)(カ四)

くぐる(連体) 一四七

くさ(草) 一六・四六・四七・四〇・五四・五〇・

五三・四〇 ↓あふひぐさ・あやめぐ

さ・うきぐさ・しのぶぐさ・にはく

さ・ふゆぐさ・みくさ・みじくさ

くさ(種) ↓ちぐさ

くさき(草木) 四六

くさまくら(枕) 五三

くしげ(匣) ↓たましくしげ

くす(葛) 一六・二七・六〇・四八 ↓まくす

くだく(砕く)(カ四)

くだき(連用) 四四

くだく(終止) 四四・四四

くだく(砕く)(カ下二)

くだけ(連用) 四三・六二

くちき(朽木) 三〇・三六・四六

くつ(朽つ)(カ上二)

くち(連用) 二五・三九・三六・四六・五八・

五九

くどく(功德) 六二

くじ(困) 五五・六二 ↓いつのくにきの

くに・つのに・とよくに・ふたく

に・みちのくに

くははる(加る)(ラ四)

くははれ(已然) 二二

くまの(熊野) ↓みくまの

くむ(汲む)(マ四)

くま(未然) 五三

くむ(連体) 三二

くむ(組む)(マ四)

くみ(連用) 六二

くも(雲) 四・三七・三三・三九・三七・三五・

四七・四五

↓あまぐも・うきぐも・しらぐも・よこ

ぐも

くもがくる(雲隠る)(ラ下二)

くもがくれ(連用) 三〇・三六

くもがくれ(雲隠れ) ↓やへぐもがくれ

くもま(雲間) 三〇・三九

くもる(曇る)(ラ四)

くもる(連体) 五〇・五五

くもる(雲居) 二・三六・三〇・三四・四〇・

四三・五五・六〇・六三

くゆりわぶ(燻化ぶ)(ラ下二)

くゆりわぶ(終止) 三〇

くらし(暗し)(形容ク)

くらし(連体) 三二

くらし(已然) 四〇

くらす(暗す)(サ四) ↓かきくらす

くらす(暮す)(ラ四)

くらし(連用) 四八・五

くらし(位山) 三六

くる(暮る)(ラ下二)

くれ(連用) 九・九・二〇・二三・三三・

三五・三九・七〇・七二・七四・七六・三三・

四五・四七・四八・四九・五〇

くるる(連体) 二七

↓こえくる

くるし(苦し)(形シク)

くるし(終止) 一四・三〇

くるし(苦) 四四

くれ(暮れ) 三三・四四・四九

↓ゆふくれ

くれかか(暮懸る)(ラ四)

くれかか(連体) 一九

くれぐれ(暮々) 一八

くれなる(紅) 六三

くれゆく(暮行く)(カ四)

くれゆく(連体) 五八

くろかみ(黒髪) 三九

くろき(黒木) 三三

け

け(毛) ようはげ

け(故) 五八

け(接尾) ↓つれづれげ・をしげ

けけれ(心) 六六

けさ(今朝) 一・八九・三四・三六・

けだもの(獣) 六七

けぬ(消ぬ)(ナ変)

けな(未然) 三三

けぬ(終止) 三七・四七

けふ(今日) 九・四八・四九・三三・三三・三三・

三七・三七・三六・三六・四九・三三・三三・

三四・三三

けぶり(煙) 三九・三〇・三九・四九・三六

けむ(助動)

けむ(終止) 六四八・六四九

けむ(連体) 五九・三三・三三〇・三三三・三五・五九三

・三五・五三七・五八・五九・六〇・五八九・五九〇

六四三・六四七・六五二・六五八

けらし(助動)

けらし(連体) 四四・五七・六四四

けらし(已然) 一五八

けり(助動)

けり(終止) 一・三・二二・一九三・三三・三五・三二

三三・三六・四一・四四・四七・五八・八八・九二・九五

・二九・五三・五七・五八・五九・六〇・六一・六二

・七二・七九・八五・九〇・九四・九八・一〇一・一〇五

・一〇八・一一三・一二三・一二五・一二六・一二七

・一三〇・一三二・一三三・一三五・一三六・一三七

・一四〇・一四一・一四二・一四三・一四四・一四五

・一四七・一四八・一四九・一五〇・一五一・一五二

・一五三・一五四・一五五・一五六・一五七・一五八

・一五九・一六〇・一六一・一六二・一六三・一六四

・一六五・一六六・一六七・一六八・一六九・一七〇

ける(連体) 八・一五・一八・二七・三六・六七・七二

・七五・七六・七九・八二・八五・一一三・一二一・一二二

・一四一・一九二・二〇二・二〇三・二〇五・二〇九・二一九

・三〇九・三三〇・三三八・四三三・四三九・四四一・四六六

・五〇三・六二二・六三三・六三九・六四四・六五三・六五九

六四七・六五七

けれ(已然) 九・三〇・六三・六五九

レ

こ(子・児) 六〇七・六〇八・六三三 ↓みどりこ

こ(木) 八・三三・三三・三三・三三・三三・三三・三三・三三

三六・三六・三六・三六・三六・三六・三六・三六・三六

三六・三六・三六

こ(此) 一六・三三・六五・一〇四・一〇三・一一・五二・五七

↓をてものこ

こえく(越来)〔カ麥〕

こえくれ(已然) 六五九

こえくる(越暮る)〔夕下二〕

こえくれ(連用) 四九

こえわぶ(越佗ぶ)〔巴上二〕

こえわび(連用) 五三

こうばい(紅梅) 五八

こがくる(木隠る)〔夕下二〕

こがくれ(連用) 二五・二九・三三・四七

こがくれ(木隠れ) 四四

こがね(黄金) 四六

こがめ(小瓶) 五三

こぎいつ(漕出づ)〔夕下二〕

こぎいつる(連体) 五四

こきちらす(扱散す)〔夕四〕

こきちらす(連体) 三六

こぐ(漕ぐ)〔夕四〕

こが(未然) 一六八

こぐ(連体) 六四

こくう(虚空) 六二

こけ(苔) 二四・三九・五三・五三・五三・五三・五三・五三

五三・五三・五三・五三・五三・五三・五三・五三

こけおりぎぬ(苔織衣) 六四九

ここ(此処) 五九・六七

ここ(九重) 二・三〇

こころ(心) 一〇一・一二・二二・三三・三三・三三・三三・三三

四三・四三・四三・四三・四三・四三・四三・四三

四六・四九・五〇・五三・五三・五三・五三・五三

六五・六六

↓けけれ・ふたごころ

こころうし(心憂し)〔形ク〕

こころうき(連体) 九三

こし(腰) 五九

こし(越) 五三・五九

こじま(小島) 三六・六九

こす(小簾) 一五〇・二〇一

こす(助動)

こせ(命令) 六九

こずあ(梢) 一七・三七・三九・三三・四二

こそ(係助) 三〇・九・二五・二四・二五・二五・

一六・三〇・三六・四〇・三三・三三・四〇・

四四・四六・四六・四六・四九・五三・

五五・五五・五五・六三・六九

こだかし(木高し)(形ク)

こだかく(連用) 三六

こだかき(連体) 一三六・一九・三四・三五・

五六

こだかみ(木高み) 三四

こたふ(答ふ)(ハ下二)

こたへ(未然) 一八・四三

こと(事) 三〇・四四・四六・四六・四六・四七・

五五・五八・五九・六六・六三・六三

→あだごと・ふるごと

ごと(毎) →あかつきごと・あきごと・か

ずごと・たびごと・としごと・はご

と・はるごと・もとごと

ことごとし(事々し)(形シク)

ことごとし(終止) 六四

ことし(今年) 三七・九

ごとし(如し)(助動)

ごと(語幹) 三三

ことに(殊に) 一四・三六

ことのは(言の葉) 四〇・六〇

このした(かくれ)木の下隠れ) 四三

このした(やみ)木の下闇) 四二

こはぎ(小萩) 一八・二六

こひ(恋) 三三・四〇・四二・四六・四六・四六・

四六・四六・四七・四九・五〇・五〇・五〇

→つまごひす

こひし(恋し)(形シク)

こひしき(連体) 二〇・三六・四三・四七・

四九

こひしかる(連体) 六

こひしら(恋しら) 二〇

こひわたる(恋渡る)(ラ四)

こひわぶ(恋化ぶ)(ハ四)

こひわび(連用) 四

こふ(恋ふ)(ハ上二)

こひ(連用) 四三・六九・二九・三九・三九・四七・

四九・四〇・四三・四八・四九

こふ(終止) 四〇

こふる(連体) 三三

こほり(氷) 二五・四一・四二

こほりす(氷す)(サ変)

こほりし(連用) 三〇・三〇・四

こほりす(終止) 三四

こほりわたる(氷渡る)(ラ四)

こほりわたれ(已然) 三〇

こほる(氷る)(ラ四)

こほり(連用) 三〇

こほれ(已然) 二・三〇

こぼる(濡る)(ラ下二)

こぼれ(連用) 九

こぼる(連体) 二・〇・一五・六

こまつ(小松) 三六

こまつばら(小松原) 六五

こむ(籠む)(マ下二)

こめ(連用) 三七

こむらさき(濃紫) 六三

こも(薦) ↓かりごもの・まごも

こもり(籠り) ↓ふゆごもり・みごもり

こもる(籠る)(ラ四)

こもり(連用) 六〇

こもれ(已然) 三六

こや(昆陽) 四七

こゆ(越ゆ)(ヤ下二)

こえ(連用) 六五・六〇

→とびこめ

こよひ(今宵) 一六・一四・三三・五

これ(此) 五九

ころ(頃) 八〇・一四・二四・三四・五六・〇〇・五〇・五五

・五七 ↓まほし

ころも(衣) 一四〇・一五・三〇・三四・四六・五〇

二四八・四九・五七・五八・五九・五〇・六一・六二・

↓あまごろも・あまのはごろも・からご

ろも・かりごろも・すずかけごろ

も・すてごろも・すりごろも・たひ

ごろも・なつごろも・ぬれごろも・

ふるごろも・みちゆきごろも・ゆき

わけごろも

ころもで(衣手) 一〇・一七・三三・五二・五三・五五・

一三・二六・三四・四二・四三・四七・五七・五九・

五九・五〇・六三

こゑ(声) 一八・二九・三〇・三四・四九・五三・

一〇一・一〇七・三三・三四・三四・四四・

四二・五二 ↓はつこゑ

な

な(副) 四六・四七・五七

な(接尾) ↓らくくひな・かなしな・くる

しな・なむな・なちけな・なな・はか

なな・味ほしな

なえわたる(河渡る)(三四)

なえわたる(連体) 一三

なえわぶ(河化ぶ)(二上二)

なえわび(連用) 二九・三九

なかまきゆく(逆巻行く)(カ四)

なかり(盛り) 四〇・七一・二〇

↓はななかり

なき(先) 八九・三三

なき(崎) ↓からなき・すなき・みわのな

き

なきちる(咲散る)(ラ四)

なきちる(連体) 六

なく(咲く)(カ四)

なき(連用) 一三・三六・四七・五七・六二・

三六・五九

なく(終止) 二・八

なく(連体) 四・五・一〇・

なけ(已然) 一八・二九・四〇・六・四

なく(裂く)(カ下二)

なけ(連用) 六二・六三

なぐら(桜) 四四・四六・五〇・七一・五五・五八

↓やまなぐら

なぐらばな(桜花) 五三・四・三六・六・六・

七・七・七六・八二・八五・八六・九二・九三・

な(語) 三三・五九

なけぶ(叫ぶ)(二四)

なけぶ(連体) 三〇

なき(餌) 三三・三三 ↓みゆたてなき

なきがに(細蟹) 一七

きなみや(枕) 八九・三四

きかはら(笹原) ↓をなきはら

きままくら(笹枕) 五〇

きしやなき(差柳) 三三

きす(差す)(サ四)

きす(連体) 六三・六三

きせ(已然) 三三

きそひく(誘来)(カ変)

きそひき(連用) 二五

きそふ(誘ふ)(ハ四)

きそふ(連体) 三六

きだむ(定む)(マ下二)

きだめ(未然) 四〇

きだめなし(定無し)(形ク)

きだめなき(連体) 四八

きつき(五月) 一三・三六・四〇

きつきやま(五月山) 一六・四一

きつきやみ(五月闇) 一四・一四・四四

さと(里) 六一・三六・四二・四三・四九・四六・五八

・五三・五七

↓しのぶのさと・たまがはのさととを

ちのさと・ふしみのさと・やまざと

さとみこ(里巫女) 六四六

さなのわたり(佐野の渡) 四九六

さは(沢辺) 一四八・二六六・三〇七・六〇八

さはみつ(沢水) 三九六

さびし(寂し)(形シク)

さびしく(連用) 三三〇・三三九

さびし(終止) 三三九

さびしき(連体) 二七六・三九九

さびしかる(連体) 二七五

↓つらさびし

さぶ(接尾) ↓かみさぶ

さへ(副助) 九二・九六・四一八

さほ(佐保) 一三三・四四二・六二六・三九二・三九三

さほやま(佐保山) 二六六

さま(様) 六二七・六二七

さます(覚す)(サ四)

さまし(連用) 一三三

さみだれ(五月雨) 一三三・三四四・三五一・二八六

三三・四二四・三九六・三九九

さむ(覚む)(マ下二)

さむる(連体) 一五

↓ねさむ

さむけみ(寒けみ) 二九三

さむさ(寒さ) 三四四

さむし(寒し)(形ク)

さむく(連用) 二〇四・二六一

さむし(終止) 一五二・二六二・二九二・三〇二・

三四二・四四二・三二八・三三三・三四四

さむき(連体) 二〇六・二四九・三二七・三六二・三六三・

三〇七・三三三・三三七

さむけれ(已然) 四二二・五〇七・五〇四

さむしろ(狹筵) 四四二・四四三・四四四

さむみ(寒み) 二四二・二六〇・二六四・二六五・二六六・

三〇三・三〇五・三三三・四一七・四二六・六三三

さめ(覚) ↓ねさめ

さめがる(醒ヶ井) 五〇四

さやけさ(清けさ) 二二五・三三三

さやに(清に) 三三〇・四二二

さゆ(冴ゆ)(マ下二)

さえ(連用) 三〇四・三〇四・三〇八・三三三・三三三・

三三六・三三六・三三一・三三七・三三七・三三七・

三三三

さゆる(連体) 五八六

さよ(小夜) 一四六・三三六・三三九・四四三・四四六・二九六・

三〇九・三三〇・三三四・三三三(佐夜とかける)

さよのなかやま(佐夜の中山) 五三三(小夜)

とかける

さらしな(更科) 二四二・二四三

さらなり(更なり)(形動ナリ)

↓いまさらなり

さりく(去来)(力変)

さりくれ(已然) 六

さりとち(接) 一六・三九九

さる(猿) 一〇一

さる(去る)(ラ四)

され(已然) 一三二・二七二・二九二・三三三・三三六・

三三三・三三三・四一七

さわぐ(騒ぐ)(ガ四)

さわぐ(連体) 三〇二・三三三・三三八

さわらび(早蕨) 一九

さを(棒) ↓みなれさを

さをしか(小牡鹿) 一四二・三三三・四〇〇

さんげ(懺悔) 六六

し

し(副助) 三〇二・四七〇・一〇〇・二八二・三三三・二四四・

三九二・一七二・一八二・三三三・三三三・三三六・

三三三・三九九・三四四・三〇二・三三三・三三六・三九七・

しのぶのさと(信夫の里) 四六(忍ぶとこか)

けさ

しのぶやま(信夫山) 四六

しば(芝) ↓みちしば

しば(屢) 二四四

しばし(暫し) 四六・四六

しばしば(頻) 三二・三九一

しば(入) ↓ちしば

しば(潮) 五〇

しば(塩) ↓もしほ・もしほび

しばあひ(潮合) 二九五

しばかせ(潮風) 一五・三六

しばがまのうら(塩釜の浦) 二六・三九・

三六・六七

しばぢ(潮路) 三三・三三

しばひ(潮干) 三二

しばやき(塩焼) 三四

しま(島) 五五 ↓あはぢしま・いせしま・

いもがしま・おきつしま・こじま

たまつしま・たみののしま・ひめし

ま・まがきのしま・ももしま・やそ

しま・ゆきしま

しまね(島根) ↓ちまねしまね

しまもり(島守) ↓たまつしまもり

しみづ(清水) 五・四〇・五四

↓おぼろのしみづ

しむ(染む)(マ四)

しみ(連用) 三〇・三九・三三

しめ(標) 四六・五一

しめおく(占置く)(カ四)

しめおき(連用) 五

しも(霜) 二・五六・五九・六七・六八・六九・七〇

・九一・〇〇・〇七・〇八・〇九・三〇・三六・

四三・四四・四七・四七・五三・五四・六三

↓つゆじも・はつしも

しもよ(霜夜) 三三・五七

しゆし(種子) 六一

しらが(白髪) 五二

しらかはのせき(白河の関) 四三(覆きと

かける)

しらくも(白雲) 四・三四・四五

しらす(白洲) 三三

しらすげの(枕) 一七

しらつゆ(白露) 二六・二六・二七・四〇

しらなみ(白波) 五二

しらふ(白斑) 三三

しらまゆみ(枕) 四〇

しらやま(白山) 四六・五七

しらゆき(白雪) 三三・三六・三三・四四・四九

五九

しる(知る)(ラ四)

しら(未然) 四・五六・四・七・七・八一・三〇・

三六・三七・七四・五五・四〇・四〇・四〇・

四七・四九・四九・四九・五〇・五〇・

五二・五九・五〇・六〇・六〇

しる(終止) 四六・四五

しる(連体) 三六・三三・三七・三六〇

しれ(已然) 三〇

しる(知る)(ラ下二)

しれ(未然) 四〇

しるし(験) 一五〇・四三・六四

しるし(著し)(形ク)

しるく(連用) 一六・四二

しろし(白し)(形ク)

しろく(連用) 七・三〇・八・三〇・三二・三七

しろし(終止) 三四・四五

しろき(連体) 八・五〇

しろたへ(白妙) 三四・三五

しをる(養る)(ラ下二)

しをれ(連用) 二六・三五・三六・三八・四四

しをれあふ(養れ合ふ)(ハ四)

しをれあひ(連用) 一七

す

す(簾) ↓こす・みす

す(洲) ↓しらす

す(サ変)

せ(未然) 三・四・三二・四八・四七・五八

し(連用) 二五・四三・五七・五九

す(終止) 七・三二・一七

する(連体) 四〇・四六・四九・四七・〇五九

すれ(已然) 五・五五

せよ(命令) 一〇・三六

↓おとす・こほりす・たびねす・つまへ

ひす・つりす・ながゐす・まどゐす・

みそぎす・あみちす

す(助動)

す(終止) 三

ず(助動)

ず(連用) 三・五・二二・二九・三二・三三・

三六・三七・三六・三九・三九・三九・

三九・四二・三二・四三・四三・四三・四三・

四三・四六・四七・四九・五〇・五〇・五三・

五七・五七・五七・六三

ざり(連用) 二二

に(連用) 二〇

す(終止) 五・六・〇三・三三・四一・八〇・八二・

一四・二五・三二・三七・四二・四三・四九・

四九・〇六・五九・五九・〇二・〇六・〇六・

六四・六三・六三

ぬ(連体) 四・二・三三・三六・三三・三六・

四三・七六・八六・九七・〇九・二〇・二〇・二六・

一四九・一五二・一六二・一七二・三三・三三・

二七・三〇・三〇・三九・三九・三九・三九・

四三・四三・四三・四三・四三・四三・四三・

四九・四三・四三・四三・四三・四三・四三・

四九・五〇・五〇・五二・五二・五二・五二・

五二・五七・五七・〇六・〇六・〇六・〇六・

ね(已然) 一八・三七・三二・二九・二五・四〇・四一・

・三三・三〇・三九・三九・三九・四〇・四〇・

四三・四三・四六・四六・四六・四九・五三・

五三・六三・六七

↓すぎがてに・なくに

す(掘う)(ワ下) 二

す(未然) 三三〇

すが(管) 三六

すがた(姿) 五九

すがはら(菅原) 六〇

すがら(副) 三九・五九 ↓みちすがら・よ

すがら

すがる(繰る)(ラ四)

すがり(連用) 五九

すぎ(杉) 三〇・三二・四七

↓かみすぎ

すぎがてに(過ぎがてに) 六

すぎむら(杉群) 三三

すぎやし(杉社) 六三

すぐ(過ぐ)(カ上) 二

すぎ(未然) 七・四・五

すぎ(連用) 二九・六五

すぐ(終止) 一三

すぐる(連体) 一七・三九・三三・四三・五三

すぐれ(已然) 六九

↓すぎがてに・ちりすぐ

すぐしく(過し来)(カ変)

すぐしき(連用) 五二

すぐす(過す)(サ四)

すぐし(連用) 五九

すぐせ(已然) 四〇

すくなし(少し)(形ク)

すくなき(連体) 四〇

すび(管) ↓しらすびの

すさき(洲崎) 五〇

すさぶ(マ四) ↓たきすさぶ

すさむ(マ四) ↓ふりすさむ

すさむ(マ下二)

すさめ(未然) 六七

すず(篠) 三三

すずかけ(篠懸) 六四九

すずかけごろも(篠懸衣) 六四八

すすき(薄) 三七九・三六・四四

↓はなすすき

すずし(涼し)(形シク)

すずしく(連用) 一五六

すずし(終止) 一四七・二四・三・三六・四三

すずしき(連体) 一五〇

すそ(裾) 四二・五八(裾野)とかける

すその(裾野) 四九・五七・五八(裾)とかける

すだれ(簾) ↓あしすだれ

すつ(捨つ)(タ下二)

すて(連用) 五五四

すてごろも(捨て衣) 三六〇

すどり(洲鳥) 五二

すふ(吸ふ)(ハ四)

すふ(連体) 三九六

すべ(術) 四〇

すま(須磨) 二二五

すまのうら(須磨の浦) 三三・三三

すみ(炭) 三三・三三

すみうし(住憂し)(形ク)

すみうし(終止) 六一

すみがま(炭籠) 三三

すみのえ(住江) 四七・五六・五六・五六

すみはじむ(澄始む)(マ下二)

すみはじめ(連用) 六五八

すみよし(住吉) 三三・三六・三九・四七・五二

すみれ(堇) 四三

すむ(住む)(マ四)

すむ(連用) 四・五〇(「すむ」とかける)・五三

すむ(連体) 一五九・一五・四四・五〇

すむ(澄む)(マ四)

すみ(連用) 三六・三六・三六(「住む」とかけ

る)・五三(「住む」とかける)

すむ(連体) 五七・六五

すめ(已然) 二九・三〇

すら(副助) 六七

すりごろも(摺衣) 三七四

すゑ(末) 三三・四九・五九

すゑば(末葉) 三三九

せ

せ(頼) ↓あまのいはせ・かはせ・せせ

せき(関) 四三

↓あふさかのせき・しらかはのせき

せきあふ(堰敢ふ)(ハ下二)

せきあへ(未然) 四三(関)とかける

せきいる(堰入る)(ラ下二)

せきいる(連体) 三三

せきぢ(関路) 五五

せきもり(関守) 三九・五八

せきや(関屋) 四三・四七

せせ(瀬々) 四四・四四

せた(勢多) 六四七

せみ(蟬) 一四九・五六 ↓うつせみ

せみのをがは(瀬見の小川) 三九

そ

そ(其) 六・五三・四九

そ(終助) ↓な…そ

ぞ(係助) 二六・八〇・四一・四一・四一・四一・三三

七六・八〇・九〇・九七・一〇二・一〇三・一〇三・一〇三

一五・一五・一六・一七・一七・一七・一七

↓おとはのたき・よしのたき
たきすさぶ(焚すさぶ)(タ四)

たきすさび(連用) 五九

たぎつ(激つ)(タ四)

たぎつ(連体) 四三

たく(鬨く)(タ下二)

たく(連用) 二四・三六・四四

たけ(岳) ↓いこまのたけ・ゆつきがた

け・よしののたけ

たけくま(武隈) 三三・四〇

たけゆく(鬨行く)(カ四)

たけゆく(連体) 二四六

たこのうら(多祢の浦) 一〇

たこのうら(田子の浦) 五九

たすき(褌) ↓ゆふたすき

たそかれ(黄昏) 一六

たそかれどき(黄昏時) 二六・三六

ただ(唯) 一五・四一・四二・四三・四四・四六

・五二

たたる(崇る)(ラ四)

たたる(連体) 五九

たち(達) ↓かみたち

たちいつ(立出づ)(タ下二)

たちいで(連用) 二四

たちかくる(立隠る)(ラ下二)

たちかくるれ(已然) 四七

たちかへる(立返る)(ラ四)

たちかへり(連用) 一〇(「立帰る」とかけ

る)

たちかへる(終止) 四六

たちかへる(立帰る)(ラ四)

たちかへり(連用) 一〇・三〇・三六(「立返

る」とかける)・一六(「立ち」とかける)

たちく(立来)(カ変)

たちく(終止) 三六

たちのぼる(立昇る)(ラ四)

たちのぼる(連体) 三九

たちばな(橘) 一三九・四〇・四一

たちみち(立満つ)(タ四)

たちみち(連用) 二二・六〇

たちよる(立寄る)(ラ四)

たちよれ(已然) 四三

たちわかる(立別る)(ラ下二)

たちわかれ(連用) 六九

たちわたる(立渡る)(ラ四)

たちわたる(終止) 一六

たつ(立つ)(タ四)

たつ(未然) 五・一七・五九

たち(連用) 二・五・一四・一七(「立ち帰る」

とかける)・三六(「馳」)・三九・四〇

たつ(終止) 一〇・四三・五三

たつ(連体) 一四(「立田川」とかける)・三〇・

四三(「立つ木」)・たつき(「方法」とかける)

・四七・四八(「辰の市」とかける)・四九・五七

たて(已然) 三・七・一六・三三・三七・五七

たつ(立つ)(タ下二)

たて(未然) 四四・四九

たつ(裁つ)(タ四)

たち(連用) 一〇・一七

たつ(田鶴) 一六九・一七・一〇八・三三・三六・

三九・四一・四九・四四

↓あした

たつき(方法) 四三(「立つ木」とかける)・四九

たつたがは(立田川) 一四(「立つ」とかける)

たつたづし(形シク)

たづたづし(連体) 一〇

たつたのかは(立田の川) 一六

たつたのやま(立田の山) 一八・一三・一四・

三二・四五

たづぬ(尋ぬ)(ナ下二)

たづぬ(未然) 四三

たづね(連用) 六・一六・一五・五九

- たづぬ(終止) 六三
- たづぬる(連体) 五九・六〇
- たづねく(尋来)〔カ変〕
- たづねこ(未然) 四六
- たづねみる(尋見る)〔マ上一〕
- たづねみ(未然) 五四
- たづねみる(連体) 五五
- たつのいち(辰の市) 四八〔たつは立つと
かける〕
- たて(立て) ↓なだて・みゆたてざさ
- たとひ(統ひ) 三七
- たどる(辿る)〔ラ四〕
- たどる(終止) 三三
- たなばた(七夕) 一六・七〇・七二・四三
- たなびく(棚引く)〔カ四〕
- たなびき(連用) 一九
- たなびく(終止) 二〇・三三
- たに(谷) 四・三九・四〇
- だに〔副助〕 三九・五〇・五二・四〇・四〇・四三・
四八・四三・四七・四九・五二・五七・五七・
- 五七・六七・六八
- たにがは(谷川) 四七
- たにみづ(谷水) 三六
- たね(種) 三五・五九
- たのむ(頼む)〔マ四〕
- たのむ(終止) 六〇
- たのむ(頼む)〔マ下二〕
- たのめ(未然) 四九・四三・四八・四九
- たのめ(連用) 四六・四七・四七・五六
- たのむる(連体) 四七
- たのめ(頼め) ↓ひとだのめ
- たのめく(頼め来)〔カ変〕
- たのめこ(未然) 五七
- たび(度) ↓いくそたび・ももたび
- たび(旅) 五三・五三・五三・五九・五九・五六
- たびごと(度毎) 五〇
- たびごろも(旅衣) 五四・五七・五八・五三
- たびねす(旅寝す)〔サ変〕
- たびねする(連体) 五五
- たびと(旅人) 四四
- たふ(塔) 六六
- たふ(堪ふ)〔ハ下二〕
- たへ(未然) 三三・三六
- たへ(連用) 三三
- たぶさ(鬢) 六三
- たふる(倒る)〔ラ下二〕
- たふれ(連用) 五八
- たま(玉・珠) 四六・四六・二七
- たまえ(玉江) 三七
- たまがき(玉垣) 六四
- たまがはのさと(玉川の里) 六
- たまくしげ(枕) 六六
- たまくら(手枕) 六四
- たまさかなり(形動ナリ)
- たまさかに(連用) 三三・四三
- たまだれの〔枕〕 一五・三〇・三三
- たまつしま(玉津島) 五七
- たましまもり(玉津島守) 五七
- たまつばき(玉椿) 五六
- たまふ(給ふ)〔ハ四〕
- たまへ(命令) 六一
- たまぼこの〔枕〕 四・五三
- たまも(玉藻) 五九・五七
- たまもかる〔枕〕 一〇・一〇
- たまる(溜る)〔ラ四〕
- たまれ(已然) 一六
- ↓みづたまる
- たみ(民) 四七・六九
- たみののしま(田舎の島) 四六
- たむく(手向く)〔カ下二〕
- たむけ(連用) 一四・三四・五三
- ため(為) 一五

たもと(袂) 二六・二七・二九・三四

たゆ(絶ゆ)(「ヤ下」)

たえ(未然) 三三・三九・三〇・三二・三三

たえ(連用) 二五・二六・三三・三三

→うちたゆ・おもひたゆ

たゆたふ(「四」)

たゆたふ(連体) 四六・五九・六八

たより(便り) 六七・七三・七三

たり(助動・完了)

たら(未然) 四八

たる(連体) 二四・三四・三六・四三・四七・五〇

・三三・四〇・四三・四三・五〇・五九・六〇・六四

たる(垂る)(「ラ下」) ↓しだる

たる(垂る)(「ラ下」)

たれ(連用) 五〇・六四・七

たれ(誰) 三〇・三三・三四・三六・三九・三三・

一〇・四九・五三・四三・五三・五七

ち

ち(孝) ↓あなぢ・あなぢはら・あなぢふ

ち(略) ↓あぢまぢ・しほぢ・せきぢ・の

ぢはこねぢ・みやぢ・やまぢ・ゆめ

ぢ

ちかし(近し)(「形ク」)

ちかけ(未然) 一四八・四八

ちかく(連用) 二四・五〇

ちかし(終止) 一四九

ちぎ(干木) 四七

ちぎる(契る)(「ラ四」)

ちぎり(連用) 五九

ちぐさ(干種) 四九

ちごく(地獄) ↓あびちごく

ちしほ(干入) 六三

ちぢ(干々) 三六・三三

ちぢわくに(副) 六一

ちとせ(十年) 三三・三六・三四

ちどり(干鳥) 二四・二九・二九・二九・二九・

三六・三七・二九・三九・五七・六五 ↓はま

ちどり

ちはやぶる(枕) 三六・三六・四七・四六・六三

ちぶさ(乳房) 四九

ちよ(干世) 三六

→ちくちよ

ちよく(勅) 六二

ちらす(散す)(「サ四」) ↓こきちらす

ちり(塵) 三三

ちりかか(る)散懸る(「ラ四」)

ちりかひかすむ(散交體む)(「マ四」)

ちりかひかすむ(連体) 六五

ちりかふ(散交ふ)(「ハ四」)

ちりかふ(連体) 六五

ちりしく(散敷く)(「カ四」)

ちりしき(連用) 三六

ちりすぐ(散過ぐ)(「カ上二」)

ちりすぐる(連体) 六

ちりつもる(散積る)(「ラ四」)

ちりつもる(連体) 七九・六五

ちりのこる(散残る)(「ラ四」)

ちりのこる(終止) 一三

ちりのこる(連体) 一四

ちりはつ(散果つ)(「タ下二」)

ちりはつ(連用) 二二・二七

ちりまがふ(散紛ふ)(「ハ四」)

ちりまがふ(連体) 七

ちりゐる(散居る)(「ワ上二」)

ちりゐる(連体) 一〇

ちる(散る)(「ラ四」)

ちる(未然) 二九・三三・三六・三九・三九・

ちり(連用) 三九・三三・三三・三六・三六・三三・

ちる(終止) 三三

- ちる(連体) 三七・五八・八〇・二二・四二・五二・
三七・四八・五八・四二
- ちきちる
- つ
- つ(助動)
- て(未然) 二六
- て(連用) 四二
- つ(終止) 四六・六五・二七・四三・四六・五五・
五五・五五
- つる(連体) 六・二二・二八・三三・三三・
三四・五三
- つ(格助) →あまつそら・おきつしま・お
きつなみ・たまつしま・たまつしま
もり・もつひと・わたつうみ
- つか(束) 三三「束の間とかける」
- つかのま(束の間) 三三「束の間とかける」
- つき(月) 三三・三四・五三・五二・二五・二七・三六
・一三・一五・一七・一四・一八・二〇・三九・
三〇・三一・三二・三三・三四・三五・三六・
二八・三〇・三二・三三・三四・三五・三六・
三四・四三・四七・一七・二五・二九・三三・
三六・三九・四三・四六・四九・五三・五七・
三八・三七・四八・四九・四〇・四三・四三・
- 四九・五三・五三・五三・五三・五三・五三・
五三・五三・五三・六三・六三・六三・六三・
六〇
- つきかげ(月影) 一四六・三九・三二・四三・四六・
三五・二六・三〇・四三・三七・四三・四三・五三・
五三・五三
- つきはし(懸橋) 五九
- つきよ(月夜) 三三
- ↓おぼろつきよ・ゆふつきよ
- つく(付く)〔カ四〕 →いろつく
- つく(付く)〔カ下二〕
- つけ(連用) 六七
- つく(尽く)〔カ上二〕
- つき(未然) 二七・三三・三九・三九・三〇
- つく(漬く)〔カ四〕
- つく(終止) 四二
- つく(告ぐ)〔カ下二〕
- つけ(連用) 六九
- つく(継ぐ)〔ガ四〕 →みふゆつき
- つくす(尽す)〔サ四〕
- つくさ(未然) 六〇
- つくばね(筑波嶺) 三三
- つくる(作る・造る)〔ラ四〕
- つくる(連体) 六六・六三
- つくれ(已然) 三六
- つた(駕) 四二
- つたふ(伝ふ)〔ハ四〕
- つたふ(連体) 四四
- つたふ(伝ふ)〔ハ下二〕
- つたへよ(命令) 六八
- つつ(接助) 二二・四三・五三・五三・二九・二七・
三三・三六・四九・四二・四三・四三・四三・
五〇・五三・五三・六四・六四・六四
- つつみ(堤) 三三
- つなで(綱手) 六〇
- つなでなは(綱手縄) 四六
- つね(常) 三四・五一・六〇
- つのに(津の国) 四七
- つばき(椿) →たまつばき
- つばき(翼) 三三・三三・三三・三三・三六
- つま(妻) 四三・四三・三三
- つまごひす(妻恋す)〔サ変〕
- つまごひす(終止) 一五
- つまむかへぶね(妻迎へ舟) 二六
- つま(罪) 三六・四三
- つまむ(摘む)〔マ四〕
- つま(未然) 五
- つま(連用) 四

つむ(終止) 九

つむ(連体) 一〇

つむ(積む)マ四 ↓ふりつむ

つもる(積る)マ四

つもり(運用) 四七・四七・五〇

つもる(終止) 五七

つもる(連体) 五九・五九・六二

つもれ(已然) 三三・三七・三四・四六・五三・五七

↓ちりつもる・ふりつもる

つゆ(露) 一一・一六・四〇・八・九・九・九・二六・

一四・五九・一六・一六・一七・一七・一七・一七・

一七・一九・一九・一九・一九・一九・一九・一九・

二〇七・二〇八・二二三・二九・三〇・三三・

三三四・三五二・三五二・三五七・三五七・三八・

三八四・四〇七・四〇八・四〇九・四〇九・四二二・四七・

四四三・四四三・四四三・四六・四六五・四六六・四七・

四六八・四七〇・四七・四〇・五五・五五・五七・

五八・五三〇・五三・五三・五五・五九・六〇・

六三・六三・六三

↓あなつゆ・しらつゆ・ゆふつゆ

つゆじも(露霜) 三三・三七・三六

つらし(辛し)形ク

つらし(終止) 三三

つらら(水柱) 三〇六

つりす(釣す)サ変

つりする(連体) 三七〇

つるのをか(鶴の岡) 三三三

つれ(情) 三一九

つれづれげ(徒然げ) 五七

つれなし(情なし)形ク

つれなし(終止) 四六

つれなき(連体) 三六六

つゑ(杖) 五九

て

て(接助) 一・一〇・三・五・四・七・六・四・三・

五〇・五一・五五・六二・六四・六五・七三・七五・七六・

七九・八三・八八・九六・九六・九六・一〇六・一〇七・

一〇九・一一三・一二四・二九・二五・二七・二八・

三三・三三・三三・四三・四三・四三・四六・四九・

一五・二五・二五・二九・二九・二〇・二九・二七・

一七・一七・一〇・八八・九二・九五・一〇〇・

一四〇・二五・二六・三九・三〇・三二・三三・

三三・三七・三九・四〇・四三・四三・四三・四六・

四七・五三・五三・五三・五三・五三・五三・五三・

二九・二七・二七・三三・二九・二九・二九・二七・

三〇・三〇・三九・三〇・三三・三三・三三・三三・

三六・三七・三三・三六・三六・三六・三六・三六・

三六・三六・三三・三三・三三・三三・三三・三三・

三三・三三・三三・三三・三三・三三・三三・三三・

三三・三三・三三・三三・三三・三三・三三・三三・

三三・三三・三三・三三・三三・三三・三三・三三・

三三・三三・三三・三三・三三・三三・三三・三三・

三三・三三・三三・三三・三三・三三・三三・三三・

三三・三三・三三・三三・三三・三三・三三・三三・

三三・三三・三三・三三・三三・三三・三三・三三・

三三・三三・三三・三三・三三・三三・三三・三三・

三三・三三・三三・三三・三三・三三・三三・三三・

三三・三三・三三・三三・三三・三三・三三・三三・

三三・三三・三三・三三・三三・三三・三三・三三・

三三・三三・三三・三三・三三・三三・三三・三三・

三三・三三・三三・三三・三三・三三・三三・三三・

三三・三三・三三・三三・三三・三三・三三・三三・

三三・三三・三三・三三・三三・三三・三三・三三・

三三・三三・三三・三三・三三・三三・三三・三三・

三三・三三・三三・三三・三三・三三・三三・三三・

てふ(ハ四)

てしがな(終助) 五九 ↓しが

てふ(連体) 三六

てへ(命令) 三六

てら(寺) ↓ふるでら

てる(照る)〔ラ四〕

てら(未然) 三〇七

と

と(戸) 三三三・三三六 ↓あまのよ

と(格助) 四・五・五二・三三・三三八・四七・五五・五五・

五九・五九・〇六・五七・五七・七六・八二・八二・

八六・八七・〇二・〇三・一四〇・二二五・三三・

三三・三三三・三三九・四〇六・四〇九・一四四・二〇〇・

二五・二八一・二八五・二八七・二九四・三〇三・三三三・

三三九・三三三・三七〇・三七二・三七四・三二二・三三三・

三三八・三四四・三四六・三四九・三五〇・三五二・三五三・

三五三・三五五・三五六・五六〇・五六二・五六三・五六九・

四一九・四三〇・四三三・四三六・四三九・四四〇・四四三・

四四三・四四八・四六四・四六九・四七二・四七六・四八〇・

五〇三・五二二・五三八・五三八・五三九・五四四・五四四・

五四〇・五四四・五四五・五六八・五六八・五六七・五六七・

五七九・五八〇・五八一・五八二・五九一・五九一・五九九・

六〇〇・六〇一・六〇九・六〇九・六〇〇・六〇〇・六〇〇・

六五五・六六七・六七八・六八八・六八六・六九六・六三三・

六三三・六四〇・六四二・六四四・六三三

→とつ

と(接助) 一八・一八七・二二二・二二九・五九二・二〇〇・

二七三・三〇六・三六六・四〇九・四二四・四四一・四五五

とかげ(常陸) 三三六

とかへる(ラ四)

とかへる(連体) 三三三

とき(時) 三三三・三三三・四七〇・四七六・五九六・六六九・

六三三 ↓たそかれとき

ときはなり(常磐なり)〔形動ナリ〕

ときはに(連用) 五〇〇

ときはのもり(常盤の森) 三三

とく(解く)〔カ四〕

とけ(已然) 六三三

とく(溶く)〔カ下二〕

とけ(連用) 一一

とこ(床) 三三〇・三三三・三七〇・六三三

とし(年) 三三・一一一・四一〇・四二〇・四三三・四四四・四四五・

三四七・四八八・四九三・五五〇・五五二・五五七・五六・

四四四・四五六・四三九・四五五・四七五・四七六・四七六・

四八二・四九一・五〇三・五〇四・五七二・五七三・五七九・

五八〇・五八二・五八三・五八四・五八五・五八五・五九〇

↓ことし・ちとせ・ふるとし

としごと(年毎) 二七三

とつ(閉づ)〔ダ上二〕

とぢ(連用) 三四一

とづる(連体) 二六三・三四一

とて(格助) 九・四七・六〇・六二二

とどまる(止る)〔ラ四〕

とどまら(未然) 六八〇

とどむ(止む)〔マ下二〕

とどめ(未然) 三四八

とどむる(連体) 三四八

とどめおく(止置く)〔カ四〕

とどめおき(連用) 三四七

とどろに(轟に) 七二六・六一

とにかくに(副) 六二二・六三〇

とびこゆ(飛越ゆ)〔ヤ下二〕

とびこゆる(連体) 三四三・三五

とふ(問ふ)〔ハ四〕

とは(未然) 三〇・六二・四三三・五三二

とふ(終止) 四九

とふ(連体) 六七・四四・四三三

とへ(已然) 一八〇・五八四

とふ(訪ふ)〔ハ四〕

とは(未然) 三三・八九九・四六八・四四七・五七

とふ(連体) 六〇・六八・三六三・三七三・三六三・三六〇

とぶ(飛ぶ)〔バ四〕

とぶ(連体) 一四八・三三三・三三三・四七七・四三三

→あままとぶ

とぶひのもり(飛火の野守) 九

とほざかる(遠ざかる)〔ラ四〕

とほざかれ(已然) 四二四

とほし(遠し)(形ク)

とほから(未然) 五九

とほく(連用) 五三

とほし(終止) 五九

↓まどほなり

とほす(通ず)(サ四)

とほし(連用) 一五〇

とほそ(板) 五五八

とほみ(遠み) 四九・五三・五〇

とませのやま(泊瀬の山) 三三

とも(友) 三六・四〇・三〇・三九

とも(接助) 一〇〇・一〇二・二六・二九・三九・三六・

三六七・三五・三六七・三六九・四二・四九・四〇・

五〇・五三・五七・五九・六二・六三・六六・六三

↓ざりとも

ども(接助) 三二・三三・三三・四一・三六・四三・

五八五・六三・六七

ともす(灯す)(サ四)

ともせ(已然) 三三

ともと(共に) 三四六・四九

とやま(外山) 五〇・三六・二六〇・三〇

とよくに(豊園) 三九・五〇

とよむ(響む)(マ四)

とよむ(連体) 三九

↓なきとよむ

とり(鳥) ↓しながどり・すどり・ちどり

・みづとりのの

とる(取る)(ラ四)

とり(連用) 三六

とをちのさと(十市の里) 三〇

とををに(副) 三七

な

な(名) 九・三九・三〇・四六・四八・四四・五〇

な(菜) ↓わかな

な(終助・禁止) 七五・四三・五三・五九・六五・

六三

な(終助・感動) 一七・四〇

↓がな・てしがな・もがな・もがもな

なか(中) 五五・三六・四三

↓のなか・よのなか

ながし(長し)(形ク)

なが(語幹) 三九三(長浜)とかける

ながき(連体) 二〇・二九

ながつき(長月) 三七・四〇・三七・三六

ながながし(長々し)(形シク)

ながながし(語幹) 五

なかなかに(副) 五七

なかば(半ば) 三三・四八

ながはま(長浜) 三三(長し)とかける

ながみ(長み) 四七

ながむ(眺む)(マ下二)

ながめ(連用) 五七・四〇・三〇・四九

ながむ(終止) 四〇・五七

ながむれ(已然) 三三・三六・二九・三〇

↓うちながむ

ながめく(眺来)(カ変)

ながめこ(未然) 一三

ながめやる(眺遣る)(ラ四)

ながめやる(連体) 一七・三三

なかやま(中山) ↓さよのなかやま

ながら(接助) 三二・三九・四〇・四九・五三・

五七

ながらのはま(長柄の浜) 三〇

ながらのやま(長柄の山) 七

ながらふ(長らふ)(下二)

ながらへ(連用) 三三・六〇

ながる(流る)(ラ下二)

ながれ(連用) 六・三三

ながれ(終止) 三〇

ながれいづ(流出)(下二)

ながれいで(連用) 五〇三
ながれゆく(流行く)(カ四)

ながれゆく(連体) 三六九

ながるす(長居す)(サ変)

ながるし(連用) 五五

なぎ(椰) 三三三

なぎさ(渚) 三三三・六〇四

なきとよむ(鳴響む)(マ四)

なきとよむ(終止) 一四三

なきわたる(鳴渡る)(ラ四)

なきわたり(連用) 四八三

なきわたる(終止) 二六・三七

なきわたる(連体) 三九

なく(泣く)(カ四)

なか(未然) 四七

なき(連用) 三四九・三九(鳴くとかける)・
四七・六三〇

なく(連体) 五九

なく(鳴く)(カ四)

なか(未然) 一八・六九・七〇・一三

なき(連用) 四二・二六・三五・四四・五八・三〇四

・三〇・三六・三九・七六・九九(泣くとか
ける)

なく(終止) 四四・五五・一七・三九・三二・三三・

一四九・一七・一九・二四・二八・三〇・三五・
三六・三七・三九・四四・五三・五五・六七・
二九・九四・九六・九七・九八・〇八・三六・
四四・五七・五八・五九・五九・五九・六〇・
六二

なく(連体) 六・七・四・六・一〇・一四・一六・
一七・一四・一四・九・〇・九・三・三・
三四・三六・六六・六九・九五・七三・三九・
四〇・四六・四九・四六・四七・四七・四九・
五九・五八・六〇

↓きなく

なくに 四一・五三・四四・四六・五二・五九・五七・
五八

なげき(歎き) 六六・六一

なげきわぶ(歎化ぶ)(バ四)

なげきわび(連用) 六〇

なき(無き) 三七

なし(無し)(形ク)

なから(未然) 七

なく(連用) 五・三五・三九・五八

なかり(連用) 一八

なし(終止) 九・二二・三三・三九・三六・三七

・三五・三〇・三六・三九・四二・四三・四六・
四七・五三・四八・五七・五五・六一・六五・

なき(連体) 九七・二二・三〇・三三・三九・一七
一八・一九・四〇・六八・三九・三一・三四・
三五〇・三三・四七・四六・四七・四八・
五〇・四六・五九・五九・六〇・六〇・六一・
六四

なけれ(已然) 一〇〇・二二・六八・四三

↓あやなし・さだめなし・つれなし

なしみ(無しみ) 一四二・一八・三四三

な…そ(終助) 二九・三七・四一・六六・一七四・一八・
一九・三五・三九・五九

なぞ(副) 四八二

なだ(灘) 三九四

なだて(名立て) 六九

なち(那智) 五七四・六五

なつ(夏) 一七・三三・四七・五二・五二・五三・
一四・五三・四九・五八

なつかしむ(懐かしむ)(マ四)

なつかしみ(連用) 一四

なつごろも(夏衣) 三〇

なつごろも(枕) 二八

なつの(夏野) 四四・四〇

なつやま(夏山) 一四九

なでしこ(撫子) 四三・五一

など(副) 三三・四六・四九・五七

なに(何) 一八・四〇・四二・四五・五〇・六四

なにはがた(難波瀉) 三〇・三二・三六・四九・

五三・六三

なは(種) 一うけなは・つなでなは

なびく(靡く)(カ四)

なびき(運用) 六四

なびく(連体) 三七・三七・四七

一うちなびく

なべ(名) 三三

なべて(副) 三六

なほ(猶) 四・三・三一・三九・三五・六〇

なみ(波) 三三・三三・三九・三六・三〇・三六・

三九(無み)とかける。四〇・五〇・五〇・五九

一いはなみ・うらなみ・おきつなみ・か

はなみ・しらなみ・おちなみ

なみ(無み) 六九・三三・三九・三〇(波)とかけ

る。四六

なみだ(涙) 三三・三九・四〇・四三・四九・五〇・

六〇・六〇・六〇

なみま(波間) 三六

なむ(靡む)「マ四」 ↓おしなむ

なむ(終助) 三六・四六・四九・五〇・二四・二四・

一八・一九・一七・一八・一六・三三・四〇・

なら(種) 三六

ならす(均す)(サ四) ↓ふみならす

ならひ(償ひ) 三〇・三五

ならふ(償ふ)(カ四)

ならは(未然) 五五

ならやま(奈良山) 三六

なり(助動指定)

なら(未然) 三〇・三二・三六・四六・四六・

四〇・四三・四九・五七・五八・六六

なり(連用) 六・三三・四三・四八・五〇・四三

・六四・六〇

に(連用) 九・九・二七・二七・三三・三三・

三六・四〇・四四・四八・五五・五八・

五九・六〇・六二・六二・六二・六三・

六四・六四・六四・六三・六三・六三・

なり(終止) 六・五・四〇・二〇・五六・六九・

なる(連体) 四・一〇・九・二二・三三・四三・四三・

四八・五〇・五五・六四

なれ(已然) 三九・三三・四六・四六・四九

↓あだなり・あはれなり・いかなる・い

たづらなり・いまさらなり・うちつけ

なり・おぼろなり・かれがれなり・さ

らなり・たまさかなり・ときはなり・

なくに・のどかなり・はつかなり・は

るかなり・はるなり・ひきなり・べら

なり・ほのかなり・まどほなり・まば

らなり・まれなり

なり(助動・伝聞推定)

なり(終止) 七・九・三六・三七・二六・三三・

一三・三八・二四・二四・二六・三三・三九・

三九・三九・三九・三六・三六・三六・

三六・三六・三六・三六・三六・三六・

三六・三六・三六・三六・三六・三六・

三六・三六・三六・三六・三六・三六・

三六・三六・三六・三六・三六・三六・

三六・三六・三六・三六・三六・三六・

三六・三六・三六・三六・三六・三六・

三六・三六・三六・三六・三六・三六・

三六・三六・三六・三六・三六・三六・

三六・三六・三六・三六・三六・三六・

三六・三六・三六・三六・三六・三六・

三六・三六・三六・三六・三六・三六・

三六・三六・三六・三六・三六・三六・

ぬま(沼) 二三 ↓ぬ
ぬる(濡る)(ラ下二) 三六五・三五四

ぬれ(運用) 一〇・九・三三・三三・三五・三五六

ぬる(終止) 一〇〇・一〇六・二五五・三六六

ぬるる(連体) 三三一

ぬれごろも(濡衣) 三九

ね

ね(音) 四三・四四・一四四・二〇六・二五九・二六六・三九

(「根」とかける) 四七・四七・四八四・四九

三九・三九六・六〇・三〇

ね(根) 三六・三九(音とかける)

↓いはがね・いはね

ね(韻) ↓たかね・つくばね・ふじのね

ね(寝) ↓うきね・うたたね・おもひね・たびねす

ねぐ(析く)(ガ四)

ねが(未然) 四七

ねぞむ(寝覚む)(マ下二)

ねぞめ(連用) 二四七

ねぞめ(寝覚) 二四六・三五〇・三五〇・三九五・六三

ねたし(妬し)形ク

ねたき(連体) 四二六

ねもごろごろに(寝ごろに) 三三

ねる(練る)(ラ四)

ねる(連体) 三三三

の

の(野) 四四・六〇・六二・一五四・三七・四九・四六〇

↓あだしのおほあきのはらの・かすがの・

すその・なつの・はなの・はらの・ふ

るの・みやぎの・みよしの・あなの・

をの

の(格助) 二・三・四・四三・七七八・八八八・九〇〇

一・二・三・三・四・四・五・五・六・六

一・二・三・三・七・八・九・九・〇・三・三

三・三・三・三・三・四・五・五・五・六

三・六・七・七・八・九・九・〇・〇・三

三・三・三・三・三・四・四・四・四・五

三・三・三・三・三・三・三・三・三・三

三・三・三・三・三・三・三・三・三・三

三・三・三・三・三・三・三・三・三・三

三・三・三・三・三・三・三・三・三・三

三・三・三・三・三・三・三・三・三・三

三・三・三・三・三・三・三・三・三・三

三・三・三・三・三・三・三・三・三・三

八五・八五・八七・八七・八八・八八・八八

八九・八九・九四・九四・九四・九四・九七・九七

九八・九八・九九・九九・九九・九九・一〇〇・一〇〇

一〇一・一〇一・一〇一・一〇一・一〇一・一〇一・一〇五

一〇五・一〇五・一〇五・一〇五・一〇五・一〇五・一〇八

一〇八・一〇八・一〇八・一〇八・一〇八・一〇八・一一一

一一一・一一一・一一一・一一一・一一一・一一一・一一三

一一三・一一三・一一三・一一三・一一三・一一三・一一六

一一六・一一六・一一六・一一六・一一六・一一六・一一九

一一九・一一九・一一九・一一九・一一九・一一九・一二二

一二二・一二二・一二二・一二二・一二二・一二二・一二四

一二四・一二四・一二四・一二四・一二四・一二四・一二七

一二七・一二七・一二七・一二七・一二七・一二七・一二九

一二九・一二九・一二九・一二九・一二九・一二九・一三二

一三二・一三二・一三二・一三二・一三二・一三二・一三五

一三五・一三五・一三五・一三五・一三五・一三五・一三八

一三八・一三八・一三八・一三八・一三八・一三八・一四一

一四一・一四一・一四一・一四一・一四一・一四一・一四四

一四四・一四四・一四四・一四四・一四四・一四四・一四七

一四七・一四七・一四七・一四七・一四七・一四七・一五〇

一五〇・一五〇・一五〇・一五〇・一五〇・一五〇・一五三

一五三・一五三・一五三・一五三・一五三・一五三・一五六

一五六・一五六・一五六・一五六・一五六・一五六・一五九

四九〇・四九一・四九二・四九三・四九四・四九五・四九六・四九七・四九八・四九九・五〇〇・五〇一・五〇二・五〇三・五〇四・五〇五・五〇六・五〇七・五〇八・五〇九・五一〇・五一二・五一三・五一四・五一五・五一六・五一七・五一八・五一九・五二〇・五二一・五二二・五二三・五二四・五二五・五二六・五二七・五二八・五二九・五三〇・五三一・五三二・五三三・五三四・五三五・五三六・五三七・五三八・五三九・五四〇・五四一・五四二・五四三・五四四・五四五・五四六・五四七・五四八・五四九・五五〇・五五一・五五二・五五三・五五四・五五五・五五六・五五七・五五八・五五九・五六〇・五六一・五六二・五六三・五六四・五六五・五六六・五六七・五六八・五六九・五七〇・五七一・五七二・五七三・五七四・五七五・五七六・五七七・五七八・五七九・五八〇・五八一・

↓あさひのみや・あしたのはら・あしの

や・あしびきの・あふさかのせき・あまのいはせ・あまのがは・あまのかはら・あまのと・あまのはごろも・あまのはら・あらしのやま・ありそ・うみ・いこまのたけ・いそへのやま・いちしのうら・いづのくに・い

五八三・五八四・五八五・五八六・五八七・五八八・五八九・五九〇・五九一・五九二・五九三・五九四・五九五・五九六・五九七・五九八・五九九・六〇〇・六〇一・六〇二・六〇三・六〇四・六〇五・六〇六・六〇七・六〇八・六〇九・六一〇・六一一・六一二・六一三・六一四・六一五・六一六・六一七・六一八・六一九・六二〇・六二一・六二二・六二三・六二四・六二五・六二六・六二七・六二八・六二九・六三〇・六三一・六三二・六三三・六三四・六三五・六三六・六三七・六三八・六三九・六四〇・六四一・六四二・六四三・六四四・六四五・六四六・六四七・六四八・六四九・六五〇・六五一・六五二・六五三・六五四・六五五・六五六・六五七・六五八・六五九・六六〇・六六一・六六二・六六三・六六四・六六五・六六六・六六七・六六八・六六九・六七〇・六七一・六七二・六七三・六七四・六七五・六七六・六七七・六七八・六七九・六八〇・六八一・

とかのやま・いなばのやま・いなりのみや・いはたのもり・うきたのもり・うちいでのはま・うのはなうばたまの・うはのそら・おとはのたき・おほきはのいけ・おぼろのしみづ・かげろふの・かごのわたり・かたみのうら・かみなびのもり・かりごもの・きたのみや・きのくに・ことはこのしたかくれ・このしたやみ・きのわたり・しのぶのさと・しほがまのうら・しらかはのせき・しらすげの・すまのうら・せみのをがはたかしのやま・たかまのはら・たかまのやま・たこのうら・たごのうら・たつたのかはたつたのやま・たつのいち・たまがはのさと・たまたれの・たまほこの・たみののしま・つかのま・つのくに・つるのをかときはのもり・とぶひののあり・とませのやま・とをちのさとながらのはま・ながらのやま・にほのみづうみ・ぬばたまの・ほこやのやま・はらのいけ・ひきかたの・ひらのやま・ふきあげのはま・

のどかなり(長閑なり)(形動ナリ)

のどかに(連用) 三六八

のどかなる(連体) 六五九

のとせがは(能登瀬河) 五〇一

のなか(野中) 四九七・五二五・五九一

のはら(野原) 三三三

のべ(野辺) 五二九・四二九・六〇一・九六・三三三・

三三〇・二六七・四八〇・四七二・四七三・五二五・五五六

のぼる(昇る)(ラ四) ↓たちのぼる

のみ(副助) 三七七・七〇四・三〇四・一七二・二九一・〇〇六

・三三九・三三三・七三三・三三三・三三三・三三三・四七三・

四九七・四九七・四九七・四九七・四九七・四九七・

四九七・四九七・四九七・四九七・四九七・四九七・

五七九・五八二・六〇〇・〇九六・六二五・六〇〇・六二一

のもり(野守) ↓とぶひのもり

は

は(羽) 三三三・三七六

は(葉) 八・五九一・一六六・一六六・一六六・一六六・

二九六・七〇七・七〇七・七〇七・七〇七・七〇七・

三七〇・〇八〇・三三〇・三三三・三三三・三三三・

四八六・四八六・〇〇〇・〇〇〇 ↓いなば(うき)

は:うれば・したばすあば・もみぢ

は

は(端) 二二四・六三三

↓のきは

は(係助) 一・三七七・三三三・三三三・一七二・一八二・三三三

・三九〇・三三三・三三三・三三三・四〇三・五二五・

五〇六・〇は(六二・七六・六六・七七・七七・

七九・〇・〇・〇・〇・〇・〇・〇・〇・〇・〇・〇・

一五二・一六二・一七二・三三三・三三三・三三三・

三三三・四二五・二二五・二二五・二二五・二二五・

一六〇・一六〇・一六〇・一六〇・一六〇・一六〇・

一八三・一八三・一八三・一八三・一八三・一八三・

三〇一・三〇一・三〇一・三〇一・三〇一・三〇一・

三三三・三三三・三三三・三三三・三三三・三三三・

二七五・二七五・二七五・二七五・二七五・二七五・

二八五・二八五・二八五・二八五・二八五・二八五・

三二五・三二五・三二五・三二五・三二五・三二五・

三三三・三三三・三三三・三三三・三三三・三三三・

三三三・三三三・三三三・三三三・三三三・三三三・

三三三・三三三・三三三・三三三・三三三・三三三・

三三三・三三三・三三三・三三三・三三三・三三三・

四〇九・四二〇・四二二・四三三・四四四・四四六・四四九

四三〇・四三三・四三三・四三三・四三三・四三三・

四三三・四三三・四三三・四三三・四三三・四三三・

四三三・四三三・四三三・四三三・四三三・四三三・

四三三・四三三・四三三・四三三・四三三・四三三・

ふしみのきと・ふるのやま・まがき

のしま・みくまのうら・みづがき

の・みづどりの・みふねのやま・み

よしののやま・みわのなき・みわの

やま・むこのうら・むばたまの・む

ろのき・むろのやし・ま・ものふ

の・やすのわたり・ゆきのしらは

ま・ゆらのみさき・よしののたき・

よしののたけ・よしののみや・よし

ののやま・よのなか・わかのみづは

ら・わたのはら・ぬでのわたり・を

てもこのも・そのへのみや

のがる(逃る)(ラ下二)

のがれ(連用) 五五五

のき(軒) 一四〇・二四三

のきは(軒端) 一六六・三〇三・四六六

のこす(残す)(サ四)

のこせ(命令) 元

のこる(残る)(ラ四)

のこり(連用) 六五七

のこれ(已然) 八二・七二・五〇

―せりのこゑ

のち(後) 三九六・三六六・三三三・三〇一

のち(野路) 一七二

五六・五九・五〇・五三・五四・五七・五八・
 五四・五五・五九・五九・五一・五六・五六・
 五六・五五・五七・五七・五七・五七・五八・
 五八・五九・五三・五九・五九・五九・五九・
 五九・六〇(は)・六四・六四・六七・六三・
 六三・六三・六七・六四・六四・六五・
 六三・六六・六三・六三

↓かは・やは

ば(接助・未然形につく) 五・六四・九・一六・
 三三・三三・三五・四三・四八・四四・四九・
 四五・五四・五九・六五・六六・六六・六六・
 (「四轉」の「は」とかける)六三〇

ば(接助・已然形につく) 一・三四・五・六・
 一四・九・〇・三・三・三・五・七・四・四・
 五・六二・六・六・七・七・九・九・二〇・
 二四・三四・三三・一六・一六・一七・
 一八・九一・九五・九七・九七・三〇・二二・
 二二・二七・三七・三三・三六・三四・
 二四・四七・三三・三三・三三・三六・三六・
 二八・二九・二九・二九・三〇・三二・三三・
 三六・三三・三三・三三・三三・三三・
 三三・三九・三七・三八・三九・三九・三九・
 四〇・四七・四二・四二・四三・四四・四三・
 四三・四三・四三・四三・四六・四六・四九・

五〇・五二・五三・五三・五三・五七・五五・

五七・五七・五八・五八・五八・五八・五八・

五九・六〇・六二・六二・六三・六九・

六三・六九・六四・六三

はがくれ(葉隠れ) 一三六

はがしは(葉柏) 六一

はかせ(羽風) 二九・三二・三三

はかなさ(儂さ) 一八

はかなし(儂し)(形く)

はかな(語幹) 三三

はかなく(連用) 一三・七一・三四八・三三・
 四四・四〇・三三・六三

はかなし(終止) 六二

はかなき(連体) 六〇・六二・六三

はかなみ(儂み) 三六

はがひ(羽交) 三六

ばかり(副助) 一四・四九・四二・五三・六七・
 六七

はぎ(萩) 一八・一九・四〇・四六

↓あきはぎ・こはぎ

はきはら(萩原) 一七

はぐくもる(羽ぐくもる)(ラ四)

はぐくもる(連体) 四〇

はごと(葉毎) 三六

はこね(箱根) 六八

はこねち(箱根路) 六九

はここのやま(貌始射の山) 六三

はごるも(羽衣) ↓あまのはごるも

はし(橋) 一七・二九

↓たかはし・つきはし・まろきばし

はしたか(鶴) 三三

はしひめ(橋姫) 三〇・三三

はじむ(始む)(マ下二) ↓すみはじむ

はしる(走る)(ラ四)

はしる(連体) 六四

はす(連) 一八

はた(副) 四三・六一

はた(肌) 二〇

はたて(端) 五二

はちだいらうわう(八大竜王) 六九

はつ(果つ)(タ下二)

はて(連用) 三〇

はつ(終止) 三九

↓ちりはつ

はつかぜ(初風) 一七・三四・三五・六二・六三

はつかかり(初雁) 三四・六三・三六

はつこま(初声) 七・三三・二四
 はつしぐれ(初時雨) 二七九
 はつしも(初霜) 四三
 はつせやま(初瀬山) 二七四・三〇
 はつはな(初花) 三二六
 はつやまあめ(初山藍) 三七四
 はて(果て) 四四
 はな(花) 二・三二・四一・七二・八七・九三・三三
 三・七〇・六・九〇・四〇・四七・四八・四九・五三
 五五・五八・五九・六〇・六二・六五・六六・六九・七〇
 七三・七七・七九・七〇・八二・八三・八八・八九
 九一・九二・九七・九九・一〇〇・一〇一・一〇二・一〇三
 一〇五・一〇六・一三二・一三三・一六二・一七二・四一
 一五三・一七〇・一七二・一七九・一八二・一九〇・一九三
 一九一・一九四・二五二・二五三・二五五・二五七・二五九
 四〇九・四二二・四四八・四六一・四六二・四六三・四六八
 四四四・四四四・四六八・四七〇・四七一
 とうのはな(さくらばな・はつはな)
 はなざかり(花盛り) 九
 はなすすき(花薄) 一八七・二九九・二六七・四四
 四六
 はなぞの(花園) 六一
 はなの(花野) 三二
 はなれゆく(離行く)〔カ四〕 ↓あけはな

れゆく

はにふ(殖生) 三六
 はね(羽) 三三・三三・三三
 はねがき(羽掻き) 四三
 はは(母) 六八
 ははそ(柞) 三六
 ははそはら(柞原) 三二
 はふ(通ふ)〔ハ四〕
 はふ(連体) 四三・五三
 ↓したはふ
 はふ(延ふ)〔ハ下二〕 ↓うちはふ
 はふり(祝) 六三
 はま(浜) ↓まぢいでのはま・ながはま
 ながらのはま・ふきあげのはま
 はまかせ(浜風) 三〇
 はまぢどり(浜千鳥) 三二六・三七
 はまひさぎ(浜櫛) 五〇
 はまべ(浜辺) 四四
 はまゆふ(浜木綿) 五〇
 はまをぎ(浜荻) 五五
 はや(早) 二〇・六二・六六・五九
 はや(終助) 二二
 はやし(林) 三二
 はやし(早し)〔形ク〕

はやく(連用) 一四・六二・六四

はやく(連体) 三三・六三・六四
 はら(原) 四七・五三・五九
 ↓あさちはら・あしたのはら・あまのはら
 ら・かやはら・こまじばら・のほら
 はきはら・ははそはら・ひはら・ま
 じばら・わたのはら・をのみはら
 はらの(原野) 五二
 はらのいけ(原の池) 三〇
 はらふ(払ふ)〔ハ四〕
 はらふ(連体) 三三
 はらへ(命令) 三三
 ↓うちはらふ
 はらへ(被) 四四
 はる(卷) 一・三三・四・五・六・八(張る)とかける
 一四・一五・一六・一七・一九・二〇・三三・三三・三六
 三〇・三三・三三・四〇・四四・五〇・五二・六二・六七
 六八・七三・七三・七九・八二・八四・八五・九一・九三
 九四・九七・一〇〇・一〇三・一〇三・一〇四・一〇六・一〇
 一一・一一・三三・二五・二九・三三・三三
 三四・四七・四八・四九・五二・五八・五八・四一
 五四・五五・五八・五八
 はる(張る)〔フ四〕
 はる(連体) 八(巻)とかける

はる(晴る)(ラ下二)

はれ(未然) 五九

はれ(連用) 五〇・四三

はるれ(已然) 三五

はるがすみ(春霞) 三三・二四

はるがすみ(枕) 七一

はるかぜ(春風) 一八・五五

はるかなり(遙なり)(形動ナリ)

はるかに(連用) 三三・三三・三四

はるごと(春毎) 五九・五九

はるさめ(春雨) 二四・五五・七六・九六・四六

九・一〇・五四・五五

はるなり(遙なり)(形動ナリ)

はるに(連用) 五三

はれゆく(晴行く)(カ四)

はれゆく(連体) 六三

ひ

ひ(日) 五八・五九・七二・一〇一・一〇二・一〇三・一〇四・一〇五・一〇六・一〇七

五八(日)で「紐」にかける。五九

ひ(日・陽) 三〇七・三〇三

ひ(火) 四九(「思ひよかける」) ↓いさりび。

もしほび

ひかげ(日影) 四三

ひかず(日数) 五〇・五三

ひかり(光) 三三

ひく(引く)(カ四)

ひか(未然) 五七

ひき(連用) 三三

ひく(連体) 四九・六一

ひこぼし(彦星) 一六・二六

ひさかたの(枕) 一五・一五・一六・一七・一五

三三・三三・三九・四四・四六

ひさぎ(楸) 六 ↓はまひさぎ

ひささ(久さ) ↓いくひささ

ひさし(庇) ↓いたびさし

ひさし(久し)(形シク)

ひさしき(連体) 二九・五九・六四

ひさなり(久なり)(形動ナリ)

ひさに(連用) 四六

ひたひ(額) 五九

ひつ(漬つ)(タ四)

ひつ(終止) 三五

ひと(人) 五八・五九・六〇・二七・三三・四三

一五九・一六〇・一六二・一六三・一六四・一六五・一六六・一六七

三〇三・三〇七・三〇八・三〇九・三一一・三一二・三一三

三九一・三九七・四〇二・四〇四・四〇六・四〇三・四〇六

四〇三・四三二・四三三・四三七・四三九・四四〇・四四一

四七〇・四八二・四八三・四八四・四八五・四八六・四八七・四八八

四八九・四九〇・四九一・四九二・四九三・四九四・四九五・四九六

四九七・四九九・五〇〇・五〇一・五〇二・五〇三・五〇四・五〇五

五〇六・五〇七・五〇八・五〇九・五一〇・五一〇・五一〇・五一〇

なひと・もつひと・やまびと

ひとえだ(一枝) 一〇四

ひとだのめ(人類め) 四六一

ひとつ(一つ) 五八〇・五八〇

ひとつまつ(一つ松) 五八七

ひとり(一人・独) 三五・三〇三・三〇四・三〇六

三四〇・四八・六七・三五・四四・四四・四五一・四七〇

四九・五〇・五〇・五二・五五・六・六三・六三〇

ひはら(松原) 三三

ひはらがみね(松原が峰) 一三七

ひま(隙) 二〇三・四七・六四

ひむがし(東) 六三

ひめ(姫) ↓はしひめ

ひめしま(姫島) 三六一

ひめまつ(姫松) 五九

ひも(紐) 五八(日)にかける

ひら(比良) 二四

ひらのやま(比良の山) 三〇五

ひる(平る)(ハ上二)

ひ(未然) 三・三

ひろせがは(広瀬川) 四四

ふ

ふ(斑) ↓しらふ

ふ(経)〔ハ下二〕

ふ(連用) 五二・五三・六六・七〇・三三・三〇〇・三二

三三〇・三三三・三四〇・三四三・三四六・三四七・三四八・三四九

四七〇・四七三・四七六・四七九・四八二・四八五・四八八・四九一

五九九・六〇〇

ふ(終止) 三三二・三三六・四九九

ふる(連体) 四四八・四四九(「布留」とかける)

六二

ふれ(已然) 三二・三六一・三七七・三九八・六〇三

↓へゆく

ふかくさ(深草) 二六〇・三九九

ふかし(深し)〔形ク〕

ふかき(連体) 七〇・一四四・二二八・三三三・三九九

三三三・三三六・三四〇・三四三・三四六・三四九・三五二

五〇〇

↓よぶかし

ふかふ(深み) 七六・八二・九七・一〇〇・一〇四・二二

一五二・二〇〇・三三三・三四〇・三四三・三四六・三四七

四四八・四九九・五〇〇

ふかむ(深む)〔マ下二〕

ふかめ(連用) 四四

ふきあげ(吹上) 二五七

ふきあげのはま(吹上の浜) 一五八・五八六

ふきいる(吹入る)〔マ下二〕

ふきいるる(連体) 六八

ふきかへす(吹返す)〔サ四〕

ふきかへす(連体) 三二五

ふさく(吹来)〔カ変〕

ふさこ(未然) 六六一

ふきまく(吹捲く)〔カ四〕

ふきまき(連用) 六八

ふきまく(連体) 七二・三三三

ふきむせぶ(吹咽ぶ)〔バ四〕

ふく(吹く)〔カ四〕

ふか(未然) 一八

ふき(連用) 六六・一〇五・一三三・一九六・三〇三・三六六

ふく(終止) 二六四・四六九

ふく(連体) 九八・一三二・一五二・一五六・一六六・一七五

・一六六・一九九・二〇五・二二四・二二六・三三三

三三六・三三〇・三三三・三三六・三三九・三三三・三三六・三三九

四七二・五七五・五七六・六〇〇

ふけ(已然) 一八七・七三三

ふく(茸)〔カ四〕

ふく(連体) 一三三

ふく(更く・深く)〔カ下二〕

ふけ(連用) 一四六・一七四・三三〇・三三八・三三九

三四〇・三四三・三四四・三四六・三五六・五九三・三〇〇

三〇四・三〇九・三二〇・三六四

ふくる(連体) 三三三・三三六

ふけゆく(更け行く)〔カ四〕

ふけゆく(連体) 四八八

ふけゆけ(已然) 三三三・三三六・三三九

ふし(節) 六〇三

ふし(臥し) ↓したぶし

ふじ(富士) 三三四

ふじのね(富士の嶺) 四九二

ふしみのさと(伏見の里) 二四六・六〇〇

ふす(臥す・伏す)〔サ四〕

ふす(連体) 四〇〇・五〇三

↓おきふす・をれふす

ふたぐに(二国) 三三八

ふたごころ(二心) 六三三

ふたへ(二重) 五九八

ふたり(二人) 五五二

ふちなみ(藤波) 一〇七・一〇八・一〇九・一一〇・一一一

ふちばかま(藤袴) 一八〇・一八一

ふね(舟) 二七〇・四四三

↓あまをぶね・つまむかへぶね・をぶね

ふみ(文) 三六(「踏み」とかける)

ふみしだく(踏みしだく)〔カ四〕

ふみしだき(連用) 一三

ふみならず(踏均す)〔サ四〕

ふみならず(連体) 四三

ふみみる(踏見る)〔マ上一〕

ふみみ(未然) 三六(「文見る」とかける)

ふみわく(踏分く)〔カ下二〕

ふみわけ(連用) 三六

ふむ(踏む)〔マ四〕

ふみ(連用) 六三

ふむ(終止) 三六

ふもと(麓) 四三

ふゆ(冬) 二五・二六・二六・二六・二七・二九・

三〇・三三・三四・三四・三四・三六 ↓み

ふゆつき

ふゆくさ(冬草) 三六

ふゆごもり(冬籠り) 三二・三七・三四

ふりさけみる(振放見る)〔マ上一〕

ふりさけみれ(已然) 三〇・三七

ふりすさむ(降りすさむ)〔マ四〕

ふりすさむ(連体) 三〇

ふりつむ(降積む)〔マ四〕

ふりつみ(連用) 三三

ふりつもる(降積る)〔ラ四〕

ふりつもる(連体) 三六

ふる(布留) 三六(降るとかける) 四〇

ふる(降る)〔ラ四〕

ふら(未然) 三六

ふり(連用) 八・二二・二六・二六・三二・三二・古

り(とかける) 二六・二六・二七・二九・三五

・三六・三三・三三・三六・三九(「古」とかけ

る) 三六(「古」とかける) 四六・五三

五三・五三・五七(「古」でかける)

ふる(終止) 四七・二〇・三二・三二・三三・

三三

ふる(連体) 四二・四・四・六・七・三二・四四

(「布留の山」とかける) 四六・三六・三六(「布

留」とかける) 四七・五七・七六・六三

ふれ(已然) 三六・三六・三二・三三・三六・

三七・三六・三六

ふる(旧る・古る)〔ラ上二〕

ふり(未然) 三三

ふり(連用) 一六・二二・二二(「降り」とかける)・

三九(「降り」とかける) 三六(「降り」とかけ

る) 四〇・四六・五七・五八・五七(「降り」と

かける) 五三・五九・五九・六五

ふるごと(古事) 五九

ふるごろも(古衣) 六四

ふるさと(故郷) 三〇・三三・三四・六二・九〇

一〇九・三九・八二・四九・三三・四七・四七・

五七・五六

ふるさとびと(故郷人) 四三

ふるし(古し)〔形ク〕

ふるき(連体) 九三・三五・四六・六四・九四

ふるでら(古寺) 三三

ふるとし(旧年) 三三

ふるの(布留野) 四六(「経る」とかける)

ふるのやま(布留の山) 三四(「降る」とかけ

る)

へ

へ(重) ↓いくへ・ここのへ・ふたへ・やへ

へ(辺) 一七 ↓いそへ・かはへ・さはへ・

のへ・はまへ・みやこへ・やまへ・を

かへ

へし(助動)

へし(終止) 七・三三・三三・三三

へき(連体) 二二・三三・三三・三三・四七

へだつ(隔つ)〔タ下二〕

四三・四九・五八・六〇・六三

へだつ(終止) 四三・六五

へゆく(経行く)(カ四)

へゆけ(已然) 四一

へらなり(助動)

へらなる(連体) 九三・四〇三

へらなれ(已然) 五六四

ほ

ほ(秀) 三七九(穂)とかける・三六(穂)とかかり

る・三六・三三・四二五(穂)とかける・四二六

(穂)とかける

ほ(穂) 一八七・三七九(秀)とかける・三六一(秀)と

かける・四二四・四二五(秀)とかける・四二六

(秀)とかける

ほか(他) 六六

ほころぶ(六四)

ほころび(連用) 七

ほし(星) ↓ひこぼし

ほし(欲し)(形シク)

ほしき(連体) 五二

ほしあふ(千取ふ)(下二)

ほしあへ(未然) 一一

ほす(干す)

ほし(連用) 二五

ほたる(螢) 一四八

ほど(程) 六・五・六・三・三〇・三四

四〇・五五

ほとけ(仏) 六八

ほととぎす(時鳥・郭公) 二・二八・三三

一三・二四・二六・二九・三〇・三五・三六

三七・三六・四一・四二・四三・四五・五六

三九・四〇・四一・四二・六二

↓やまほととぎす

ほのかなり(仄なり)(形動ナリ)

ほのかに(連用) 二五・二九・三七・三七

三九

ほのは(炎) 六五

ほる(掘る)(ラ四)

ほる(連体) 四七

ほる(采る)(下二)

ほれ(連用) 五七

ま

ま(間) 五・六・三・六・二〇・二九・三〇・三五

一七・三六・三九・四七・五八 ↓あしま

いしま・いはま・くもま・たえま・つ

かのま・なみま

まうく(設く)(カ下二)

まうく(終止) 五四

まがき(籬) 二五・三五・五六

まがきのしま(籬の島) 二六

まがふ(紛ふ)(八四)

まがふ(連体) 二六・三七

↓ちりまがふ

まき(楨) 一三・三六・三九・四五

まきもく(巻向) 一七・三三

まく(捲く)(カ四) ↓ふきまく

まく(播く)(カ四)

まき(連用) 五九

まく(ク語法) 二九・三六・三九・四八・五二

まくず(真葛) 四九

まくら(枕) 一五・五四・五〇・五三・五三・三四

五五・五〇 ↓くのみまへら・のみまへく

ら・そでまくら・たまくら

まことに(誠) 五五

まこも(真薦) 三六・三七

まさりゆく(勝り行く)(カ四)

まさりゆく(連体) 二七

まさる(勝る・優る)(ラ四)

まさる(終止) 一三

まさる(連体) 三三・三三・六二

まされ(已然) 一四

↓おきまさる

まし(助動)

まし(終止) 四三

まし(連体) 八九・四二・六六

まじ(助動)

まじ(連体) 五二

ます(助動)

まさ(未然) 六六

ませ(命令) 五二

ますかがみ(枕) 三二

ますらを(丈夫) 三三

ませ(離) 五三

また(又) 四・三三・四九・五二・六七

まだ(未) 二六・三六・四九・五二・五七

まだし(未し) ↓あきまだき

まつ(松) 八・一〇七・三二〇待つ」とかける。二七

・三三・三四・三五・三六・三七・三九・四〇

四〇(待つ」とかける。四六(待つ」とかける

四〇(待つ」とかける。四六(待つ」とかける

五〇・五七・四一・五六・五七・五八・六〇

↓こまつ・そまつ・ひとまつ・ひめ

まつ

まつ(待つ)(夕四)

また(未然) 三三・三三・三六・四〇・六〇

まち(連用) 一五・二五・六六

まつ(終止) 三三・四〇(松」とかける。四三

・四七(松」とかける。四九・五二(松」と

かける)

まつ(連体) 一三・三二(松」とかける。三三・

三六・三九・四〇・四九・四六・四七(松虫

の「松」とかける。四二・四七・四六・四七・

四八(松」とかける。五七(松虫)の「松

とかける)

また(已然) 一四・四〇

また(命令) 四二・四九

まつ(先) 一四

まつかせ(松風) 二四・三〇・三六・三九・四〇

五七・三〇・五七・五八・五九・三〇・三六

五七・五九

まつばら(松原) ↓こまつばら・わか

まつばら

まつむし(松虫) 四七(待つ」とかける。四六

四七・五七(待つ」とかける)

まつり(祭) 六三

まで(副助) 三三・三六・三九・四一・四二・六六

三三・三六・三九・四九・五九・六〇

まどはす(惑はす)(夕四)

まどはせ(已然) 三六

まどふ(惑ふ)(夕四)

まどひ(連用) 四二

まどふ(終止) 四三

まどへ(已然) 三〇

まどほなり(間遠なり)(形動ナリ)

まどほに(連用) 四六

まどほなる(連体) 四六

まどめす(円居す)(夕四)

まどめせ(未然) 六三

まにまに(随に) 三三

まの(真野) 一七・四七

まばらなり(疎なり)(形動ナリ)

まばらなれ(已然) 五七

まふり(名) 六三

まへ(前) 四〇・三九(前川の「前」とかける

まほし(助動)

まほし(終止) 五三

まほしき 七

まま(真間) 五三

ままに(儘に) 三六・三三

まゆみ(楳弓) ↓しらまゆみ

まれなり(稀なり)(形動ナリ)

まれに(連用) 一六九・三三・三六・三六

まれなる(連体) 四六二

まろきばし(丸木橋) 三七六

まろや(丸屋) 四七六

み

み(身) 一〇三・三三三・三九七・三三三・三三六・四〇六・四〇〇・

四〇四・四〇四・四〇二・四〇八・四〇九・五〇一・五〇四・

五〇一・五〇二・五〇六・六二〇

み(接尾) ↓あらみ・いたみ・うすみ・お

もみ・かしてみ・きよみ・こだかみ・

さむけみ・さむみ・しげみ・しづけ

み・たかみ・とほみ・ながみ・なし

み・なみ・はかなみ・ふかみ・むつま

しみ・よわみ・わすれがたみ・をし

み

みうみ(湖) 三六三

みがくる(水隠る)(ラ下二)

みがくれ(連用) 三九七

みぎは(水際) 三六三

みくさ(水草) 三九六

みくまの(三熊野) 一四三・三三三・三五一

みくまののうら(三熊野の浦) 五〇六

みこ(巫女) ↓ざとみこ

みごもり(水籠り) 三九五

みさき(岬) ↓ゆらのみさき

みさご(鶺鴒) 三二七

みしまえ(三島江) 三九七

みす(御簾) 六五五

みそぎ(禊) 五三三

みそぎす(禊す)(サ変)

みそぎする(連体) 一五三

みそら(み空) 六〇〇

みたらし(御手洗) 五二二

みたらしがは(御手洗川) 三六八

みだる(乱る)(ラ下二)

みだれ(連用) 三・三三・八・一七・一九・

三三三・三三三・三九

↓おもひみだる

みち(道・路) 四九・三〇・一七・三六・三六・三三・

四三三・五三・五三・五九 ↓やまみち

みちしば(道芝) 四三三

みちすがら(道すがら) 三六

みちのく(陸奥) 四七〇

みちのくに(陸奥国) 三九七

みちのくやま(陸奥山) 四七〇

みちゆきごろも(道行衣) 五三三

みちゆきぶり(道行舂) 四三

みつ(満つ)(夕四)

みち(連用) 五二〇

みつ(連体) 二九五

みて(已然) 六二五

↓たちみつ

みづ(水) 八六・八七・三二・三三・二四七・六四・三〇・

三三・三三・四三・四六・四七・四九・四九・

六四

↓さはみつ・たにみつ・やましたみつ・

やまみつ

みづうみ(湖) ↓にほのみづうみ

みづがきの(枕) 六四三

みづくさ(水草) 二六九

みづたまる(枕) 二五

みづとりの(枕) 三九〇

みづのえ(水の江) 三

みどり(緑) 三三三 ↓あさみどり

みどりご(嬰兒) 三三九

みなづき(水無月) 五三三

みなと(水門) 二七〇

みなひと(皆人) 三九

みなみ(南) 六三三

みなれぎを(水馴れ棹) 三九五

みなわ(水泡) 一〇二・一〇四

みね(峰・嶺) 一三六・二四・三三・三三・三三・三三・

↓ひはらがみね

みふねのやま(三船の山) 三・六四

みふゆつぎ(枕) 三〇

みむろやま(三室山) 二六三

みもすそがは(御裳瀧川) 六五五

みや(宮) ↓あさひのみや・いなりのみや

や・きたのみや・よしののみや

をのへのみや

みやうつし(宮遷し) 六九六

みやぎの(宮城野) 四六一

みやこ(都) 三三・六九・三九〇・三九〇・五九四・六三六

・三三・三三三・四四・五九・五九の六五・四八

みやこべ(都辺) 六六

みやぢ(宮路) 六三

みやま(深山) 二二・二五・三三・三三・三三六

四二・四九・四九・五三

みやまぐれ(深山隠れ) 三九

みゆ(見ゆ)(ヤ下二)

みえ(未然) 五・三五・三二・三三〇・四二・三〇

三九・三九七・四〇九・四二・四六

みえ(運用) 二四・三七

みゆ(終止) 六・三〇・三七・六九

みゆる(連体) 八・三六・三三・五五

みゆき(み雪) 三二・三三・三三

みゆたてさき(み湯立笹) 六八

みよしの(三吉野) 七・七・四九

みよしののやま(三吉野の山) 九・五九・六〇

みる(見る)(マ上二)

み(未然) 六九・七〇・八二・三六四・三九・四八・四〇

・三二・三六・三九・五七

み(運用) 三三・三九・六五・八二・四八・八七・一〇七

一六・二九・三五(裏見てで「根みてどかけ

る。三七八・四三三・四九・五〇・五一・五六四

五九・五九五

みる(終止) 五五・五九・六〇・三三三・三六七

みる(連体) 六・一四六・一八・一八・三三・三五

・五三・五三・五四・六八

みれ(已然) 一・三・八・六・一〇二・四二・四四

三七・五〇・三九・三三

みよ(命令) 一〇・三九

↓あひみる・たづねみる・ふみみる・ふ

りさけみる

みわ(三輪) 六三

みわたす(見渡す)(サ四)

みわたせ(已然) 三三

みわのさき(三輪の崎) 四九

みわのやま(三輪の山) 三二

む

む(助動)

む(終止) 五・六四・六四・七〇・八三・一〇〇・一〇七

三五・三六・三四・四三・四六・四八・四五〇

四九・四四・五〇・五三・五四・五九・五九・

六九

む(連体) 三〇・六二・七九・九四・一六・二八・四八

一三・三三・三三・三三・三三・三三・三三・

三四・三六・三六・三七〇・三七三・三七五・三七六

三八・三九・三八・三九〇・三九一・三九二・四三三

四四・四四・四四・四四・四四・四六〇・四七

四三・四三・四六・三〇三・三〇五・三二四・三九

六〇・六九・六九・六六・三〇・六三

め(已然) 一七・三八・三八・六六・六六・六三

↓まく

むかし(昔) 三〇・三三・三三・六二・六二・六六

一〇九・三〇九・三三〇・三三三・四四九・四四〇・四七

四四四・三三・三九・四〇・四八・五九・五六

五六・五七

むかしがたみ(昔形見) 九(かたみこそ「態」に

かける)

むかふ(向ふ)(ハ四)

むかひ(運用) 六三

むかへ(迎へ) ↓つまむかへぶね

むく(向く)(力下二) ↓たむく

むぐら(葎) ↓やゝむぐら

むこのうち(武庫の浦) 五二

むし(虫) 三三〇・三七〇・三九〇・四〇〇 ↓まつむし

むしあけ(虫明) 二九四

むしろ(筵) ↓なむしろ

むす(生す)(サ四)

むす(連体) 三三三

むすぶ(結ぶ)(ス四)

むすび(連用) 三〇〇

むすぶ(連体) 三三三

むすばはる(結ばはる)(ラ下二)

むせぶ(咽ぶ)(ス四) ↓かきむせぶ

むつまじ(睦まじ) 一七九

むなし(空し)(形シク)

むなし(連用) 三三・三三三

むなし(連体) 九二・四九七

むばたまの(枕) 三二・三九二・三九六

→うばたまの・ぬばたまの

むべ(直) 六四二・六四四

三六三

むら(群) ↓すぎむら

むら(紫) ↓こむら(紫)

むら(村雨) 二〇七・二四七

むら(木の) 三三

むらの(室の八島) 三〇

め

め(目) 四〇・三三三・三三三〇・三九七・四三三

め(芽) 八

めぐる(回る)(ラ下四)

めぐる(連体) 五〇七 ↓ゆきめぐる

も

も(薬) ↓たまも

も(係助) 一・四・五・六・三二・三九・七六・九〇・三〇

三〇・三三・三六・三九・四二・四八・五二・五九・六二・六八

三三・三七・四〇・四三・四六・四九・五二・五八・六一・六四

六〇・六三・六六・六九・七二・七五・七八・八一・八四・八七

九〇・九三・九六・九九・一〇二・一〇五・一〇八・一一一・一一四

一一七・一二〇・一二三・一二六・一二九・一三二・一三五・一三八

一八七・一九〇・一九三・一九六・一九九・二〇二・二〇五・二〇八

二六一・二六四・二六七・二七〇・二七三・二七六・二七九・二八二

二九七・三〇〇・三〇三・三〇六・三〇九・三一二・三一五・三一八

三二一・三二四・三二七・三三〇・三三三・三三六・三三九・三四二

三四五・三四八・三五一・三五四・三五七・三六〇・三六三・三六六

三七九・三八二・三八五・三八八・三八九・三九一・三九三・三九五

三九七・四〇〇・四〇三・四〇六・四〇九・四一二・四一五・四一八

四二一・四二四・四二七・四三〇・四三三・四三六・四三九・四四二

四四五・四四八・四五〇・四五三・四五五・四五七・四五九・四六一

四六四・四六七・四七〇・四七三・四七六・四七九・四八二・四八五

四八八・四九一・四九四・四九七・五〇〇・五〇三・五〇六・五〇九

五一一・五一四・五一七・五二〇・五二三・五二六・五二九・五三二

五三五・五三八・五四一・五四四・五四七・五五〇・五五三・五五六

五五九・五六二・五六五・五六八・五六九・五六九・五六九・五六九

五六九・五六九・五六九・五六九・五六九・五六九・五六九・五六九

五六九・五六九・五六九・五六九・五六九・五六九・五六九・五六九

五六九・五六九・五六九・五六九・五六九・五六九・五六九・五六九

五六九・五六九・五六九・五六九・五六九・五六九・五六九・五六九

五六九・五六九・五六九・五六九・五六九・五六九・五六九・五六九

五六九・五六九・五六九・五六九・五六九・五六九・五六九・五六九

五六九・五六九・五六九・五六九・五六九・五六九・五六九・五六九

五六九・五六九・五六九・五六九・五六九・五六九・五六九・五六九

五六九・五六九・五六九・五六九・五六九・五六九・五六九・五六九

も(終助) 四二・六六・一四四・四四・一八九・三〇四・四八

四九六・六四一 ↓もがもな

もえいつ(崩え出づ)(ダ下二)

もえいで(連用) 三三

もえいつる(連体) 一九

もが(終助) 三三

もがな(終助) 三四八・三九五・五八二

もがもな(終助) 六四

もしほ(藻塩) 三〇三

もしほび(藻塩火) 五九

もて(以て) 三六・三六三

もと(本) 五一・五二・五三・五四・五七

もとあり(本疎) 一三・一三三・四六一

もこと(本毎) 三三

もことひと(本一人) 四〇

もの(物) 六〇・二四〇・二五五・二六・二九・二九

一〇〇・一〇一・三二二・三三三・三三三・三三三

三三三・三九・三九四・三九六・三九五・三九六・四〇六

四〇九・四三三・四三三・四九九・四八・五〇〇・五〇六

五九・五七・六二

もの(者) 六三〇・六三〇

ものから(接助) 五九

もののみ(枕) 三四

ものゆゑに(接助) 四二

ものを接助) 八七・八九・一〇四・三三二・四八・四七

四八・四九・五五・六〇・六四・六六

ものを(終助) 一六

もみぢ(紅葉) 二四・三五・三六・三〇・二六

↓したもみぢ

もみぢす(紅葉す)(サ変)

もみぢし(連用) 二六

もみぢば(紅葉葉) 二六・三〇

ももしま(百鳥) 三七

もまたび(百度) 三九

もゆ(然ゆ)(ヤ下二)

もえ(連用) 三〇

もやしわぶ(洩し佗ぶ)(六四)

もらしわび(連用) 四七

もり(守) ↓せきもり・たまつしまもり・と

ぶひののもり・やどもり・やまもり

もり(森) 杜) 二七・四九

↓いはたのもり・うきたのもり・かみな

びのもり・ときはのもり

もる(守る)(ラ四)

もる(連体) 三〇・三三

もる(洩る)(ラ四)

もる(終止) 三三

もる(連体) 三〇・四三・五三・五三・六四

や

や(屋) 五九 ↓いたや・せきや・まらや

や(係助) 九・二九・三〇・六一・七・四・二六

一〇〇・一四七・四八・四九・五〇・二六七・二八〇

一八・一七・二四・三〇・三〇・二五・三九

二四六・三七・三九・六五・二六七・二八・二九

二九二・三七・三三・三三・三三・三三・三五〇

三三・三三・三三・三三・三三・三三・三三・三三

三三・三三・三三・三三・三三・三三・三三・三三

三三・三三・三三・三三・三三・三三・三三・三三

三三・三三・三三・三三・三三・三三・三三・三三

三三・三三・三三・三三・三三・三三・三三・三三

三三・三三・三三・三三・三三・三三・三三・三三

三三・三三・三三・三三・三三・三三・三三・三三

三三・三三・三三・三三・三三・三三・三三・三三

三三・三三・三三・三三・三三・三三・三三・三三

三三・三三・三三・三三・三三・三三・三三・三三

三三・三三・三三・三三・三三・三三・三三・三三

三三・三三・三三・三三・三三・三三・三三・三三

三三・三三・三三・三三・三三・三三・三三・三三

三三・三三・三三・三三・三三・三三・三三・三三

三三・三三・三三・三三・三三・三三・三三・三三

や(間助) 四六・九・三〇・三三・一五・二四

三三・三三・三三・三三・三三・三三・三三・三三

三三・三三・三三・三三・三三・三三・三三・三三

三三・三三・三三・三三・三三・三三・三三・三三

三三・三三・三三・三三・三三・三三・三三・三三

三三・三三・三三・三三・三三・三三・三三・三三

三三・三三・三三・三三・三三・三三・三三・三三

三三・三三・三三・三三・三三・三三・三三・三三

三三・三三・三三・三三・三三・三三・三三・三三

やく(焼く)(カ四)

やく(連体) 三六・三七

やしろ(社) 四九七 ↓からやしろ・すぎや

しろ

やすのわたり(弥瀬の渡) 一七〇

やすらふ(休らふ)(八四)

やすらふ(連体) 六五

やそうちがは(八十氏川) 三三三

やそしま(八十島) 五六一

やど(宿) 一三・四・九・一三・一六・四〇・九六

一〇・二二・二九・三三・四〇・一五九・一八二

一八三・一八六・一八七・三三三・三六八・三六三・三六四

四三・四六・四六六・四六七・四六八・四六九・四八九

五八・五三・五九・五〇・五六・五八

やどもり(宿守) 六三六

やどり(宿り) 四八・四九・五三・五九・九一・一〇

やどる(宿る)(一四四)

やどり(連用) 四三三

やどる(連体) 一四六・一三三・三三四・三三三・三五四

やどれ(已然) 五一

やなぎ(柳) ↓あをやぎ・さしやなぎ

やの(矢野) 三六一

やは(保助) 四六六・六六六

やはたやま(八幡山) 三三四・三三五

やへ(八重) 五九・九三・三三三

やへぐもがくれ(八重雲隠れ) 六三二

やへむぐら(八重葎) 四四三

やほよろづ(八百万) 六六八

やほよろづよ(八百万代) 三三三・三三三・三三三

やま(山) 一・四・四・六・六・八・九・九・二二

二四・三四・一五・六一・九一・三三三・三三三

三三三・三三三・三三三・三三三・三三三・三三三

三三三・三三三・三三三・三三三・三三三・三三三

三三三・三三三・三三三・三三三・三三三・三三三

三三三・三三三・三三三・三三三・三三三・三三三

三三三・三三三・三三三・三三三・三三三・三三三

三三三・三三三・三三三・三三三・三三三・三三三

三三三・三三三・三三三・三三三・三三三・三三三

三三三・三三三・三三三・三三三・三三三・三三三

三三三・三三三・三三三・三三三・三三三・三三三

三三三・三三三・三三三・三三三・三三三・三三三

三三三・三三三・三三三・三三三・三三三・三三三

三三三・三三三・三三三・三三三・三三三・三三三

三三三・三三三・三三三・三三三・三三三・三三三

三三三・三三三・三三三・三三三・三三三・三三三

三三三・三三三・三三三・三三三・三三三・三三三

三三三・三三三・三三三・三三三・三三三・三三三

ま・やはたやま・よしののやま・を

ぐらやま・ざとこやま・ざばすてや

ま

やまある(山藍) ↓はつやまある

やまおろし(山路) 三三三・三三三・三三三

やまかげ(山陰) ↓かたやまかげ

やまかせ(山風) 一五・一六・一七・一八・一八

二四・三三・三三・三三

やまがづ(山賊) 五七

やまがは(山川) 三三三・三三三・三三三

やまざくら(山桜) 四七・四九・六六・九七・七・七

〇・八・八七

やまざと(山里) 七・三三・六六・三三三・三三三・三三三

やました(山下) 四四三

やましたかけ(山下陰) 七

やましたかせ(山下風) 七・三三・九

やましたみづ(山下水) 四三三

やましな(山科) 四三三

やましろ(山城) 三三三・四二二

やまだ(山田) 三三三・三三三

やまち(山路) 七・九・三三・三三三・三三三

やまと(大和) 六四七

やまとしまね(大和島根) 三三三

やまびと(山人) 五九・六〇・三三三

- やまぶき(山吹) 六六・七六・九六・一〇〇・一〇一・
 一〇一・一〇二・一〇四・一〇四・一〇六
 やまへ(山辺) 三三・三五・三〇〇・三三三・三六七
 やまほととぎす(山郭公) 二〇〇・三三三・三五
 二七・三六・四三
 やまみち(山道) 三三三・三五三
 やまみづ(山水) 四四
 やまもり(山守) 六六
 やみ(闇) 四三・六三
 ↓さつきやみ・このしたやみ・ゆふやみ
 やむ(止む)(マ下二) 四
 やま(未然) 三三三
 やむ(連体) 四六
 やむ(止む)(マ下二) 四
 やめ(連用) 六六
 やや(稍) 二〇三・二〇四
 やよひ(弥生) 一一
 やる(遣る)(ラ四) 四
 やら(未然) 四三 ↓ながめやる
 やる(破る)(ラ下二) 二
 やれ(連用) 六四
 ゆ (ゆ)
- ゆ(湯) 六四・六三・三三・六四 ↓みゆたてみゆ
 ゆかし(形シク) 四
 ゆかしく(連用) 三三
 ゆき(雪) 四・五・八・二六・五七・七六・九七・
 一一・三三・三三三・三五・三六・三七・三八・
 三九・三〇・三三・三五・三六・三七・三九・
 三四・三七・三八・三九・四〇・四一・四二・四三・
 四四・四七・五九・三〇・三三・三三・三三・
 五七・五七・五七・五七・五八・五九・六三
 ↓あはゆき・しらゆき・みゆき
 ゆきあひ(行逢ひ) 一六
 ゆきあふ(行逢ふ)(ハ四) 四
 ゆきあは(未然) 四七・四六・四七
 ゆきかくる(行隠る)(ラ下二) 四
 ゆきかくる(終止) 二四
 ゆきき(往來) 六四
 ゆきしま(雪島) 三三
 ゆきのしらはま(雪の白浜) 三三
 ゆきぶり(行触り) ↓みちゆきぶり
 ゆきめぐる(行回る)(ラ四) 四
 ゆきめぐり(連用) 三三
 ゆきわけごろも(雪分衣) 三三
 ゆく(行く)(カ四) 四
 ゆか(未然) 九・一〇・一六・一六
 ゆき(連用) 三・三三・三四・三三
 ゆく(終止) 三三・四七・七六・三三
 ゆく(連体) 八・二五・三〇・三三・三三・三三・
 三三・三七・四四・四三・四七・四一・五五・
 五五・五九・六三
 ゆけ(已然) 四三
 ↓あけはなれゆく・うつろひゆく・かく
 ろひゆく・かはりゆく・くれゆく・
 さかまきゆく・したゆく・たけゆ
 く・ながれゆく・はれゆく・ふけゆ
 く・ゆく・まさりゆく・わけゆく
 ゆく(行方) 四・三九・四〇・四九・四七・
 五九・六五
 ゆつきがたけ(弓月ヶ嶽) 三三
 ゆひそむ(結び初む)(マ下二) 四
 ゆひそめ(連用) 三三
 ゆふ(夕) 四六・一三・一七・一九・三七・三六・
 三三・三三・三三
 ゆふ(結ぶ)(ハ四) 四
 ゆふ(連体) 五八(夕風の「夕」とかける)
 ゆふかせ(夕風) 五八(結ぶとかける)
 ゆふぎり(夕霧) 一六・三三
 ゆふぐれ(夕暮) 三〇・四七・一五・一七・一六・
 二〇・三三・三三・三四・三九・三九・四九・
 四九・五五・五六・五七

ゆふだすき(枕) 六四三

ゆふづくよ(夕月夜) 一三三・六六・三九・二五九・

四八・六三三

ゆふづゆ(夕露) 五五八

ゆふべ(夕) 〇・八・二・三九・一四・一九・三〇・

四〇

ゆふやみ(夕闇) 一三〇

ゆみ(日) 一あづさゆみ・しらまゆみ

ゆめ(夢) 一五・八四・一五・三九・五〇・五九・五〇・

五七・六〇・六二・六三・六六

ゆめぢ(夢路) 一五三

ゆらのみさき(由良の岬) 一五七

ゆるぐ(揺ぐ)〔ガ四〕

ゆるぐ(運体) 五九一

ゆゑ(故) 六三二

よ

よ(代)世) 三五九・三六九・三九六・三〇〇・四八・五九・

五五五・五七五・五九・五九・六〇・六〇・六〇・三

六〇・六二・六二・六三・六四・六六・六九・

六〇・六三

よいくちよ・いくよ・かみよ・ちよ・やほ

よろじよ・よよ・よろじよ

よ(夜) 三三・四三・五三・五五・三五・三九・三三・

一五三・三〇三・三〇六・三〇九・三〇三・三〇三

三四・三五・三六・三四・四四・四七・四九

三五・五七・五九・五九・五九・五九・

二九・三〇・三〇・三〇・三〇・三〇・三〇・三〇・

四七・四〇・四九・五〇・五九・五九・六三

よいくちよ・おぼろじよ・かみよ・ちよ・しよ・よ

つきよ・ゆふじよ

よ(終助) 五九

よこぐも(横雲) 三三三

よごろ(夜頃) 五・三二

よし(由) 三三・三三・三三

よし(良し)〔形ク〕

よし(終止) 六三二

よし(縦し) 六九・六四

よしの(吉野) 四九・五三・五七・三二・六二

よみのがは(吉野川) 二六四

よしののたけ(吉野の岳) 三三・四七

よしののたき(吉野の滝) 七一

よしののみや(吉野の宮) 三三

よしののみや(能野の宮) 三三

よしののやま(吉野の山) 七三・七三

よす(寄す)〔サ下二〕

よす(終止) 三六〇

よする(運体) 六四

よすがら(夜すがら) 二六九

よそ(他) 一三・二五・四〇・四四・四九・四〇・

五五

よど(淀) 五九六

よどむ(淀む)〔マ四〕

よどむ(運体) 二六九

よなよな(夜な〜) 一三三・二八・三〇七

よのなか(世間・世の中) 五八・六〇・六〇・

六九・六三・六四・六八・六〇・六四

よは(夜半) 二五・二五・二六・二六・三二・三三

よひ(宵) 一七・三三・四八

よぶ(呼ぶ)〔マ四〕

よぶ(運体) 二九

よぶかし(夜深し)〔形ク〕

よぶかき(運体) 二七・二七・三九・三三

よぶこどりの(喚子鳥) 四二

よむ(読む)〔マ四〕

よみ(運用) 五九

よも(四方) 三三・三三・三九

よよ(世々) 五九

より(格助) 一・二七・八九・二・三〇・三六・三四

二九・三六・四三・四九・四八・四九・四三・

四六・四〇・三〇・三六・六三・〇六・二七
 三九・六六・六四

よる(夜) 一四〇・二五・二〇〇・三七・三九四・五一

三〇・五六・五九・五六

よる(寄る)〔ラ四〕

よる(連体) 五〇・五六・七六・六九

↓たちよる

よろこぶ(喜ぶ)〔バ四〕

よろこぶ(連体) 六〇

よろづ(万) 三三 ーやほよろづ

よろづよ(万代) 三六の三二・三三・三六

ーやほよろづよ

よわみ(弱み) 一七

よわる(弱る)〔ラ四〕

よわる(連体) 五九

ら

ら(接尾) ーらこひしらへらなり

らし(助動)

らし(終止) 三三・四・一七・三六・三六

三六・六〇・六三・六四・三三・三三

三三・三三・三〇

らし(連体) 三三・三三・三〇

↓けらし

らむ(助動)

らむ(終止) 二六四・四七

らむ(連体) 九・二・三・三六・六・六

一〇・二九・二四・一七・一八・一九四・二〇

三五・四六・二四九・三九・二六七・二八

二九・三七・四七・三九・四〇・四二

四四・四三 四六・四六・四九・四七・四七

四二・四八四・四九二・四九八・五〇三・五〇三

五五・五八・五七・五八・五七・五五・五七

五七〇・五七三・五七四・五七六・五九二・五九七

六〇六・六四

らめ(已然) 四九

らる(助動)

られ(未然) 五三

り

り(助動)

り(連用) 三

り(終止) 三九・五・三六・三二・三〇三・三三

五九・六〇・六九

る(連体) 三・二・一六・三六・四〇・八・九

一一・三〇・三七・三三・三三・三六

三九・四〇・四〇・四三・四五・三三・三三

三六・三六・三六・三九・四六・四六・四〇

三六・五〇・五二・五七・五七・六二

れ(已然) 五・二四・三二・三三・三九

りうわ(竜王) ーはちだいりうわ

る

る(助動)

れ(未然) 四三・五九

れ(連用) 九二・三〇

るる(連体) 四六

わ

わ(我) 三三・三九・三九・三九・三九・九・一〇

一〇・一五・一八・一六・一六・三〇・三三

三六・三七・三九・三九・三〇・三九・四三

四〇・四四・四三・四三・四三・四三・四三

四六・四八・五〇・五〇・五〇・五〇・五三

三三・三六・三三・三六・三六

わう(王) ーはちだいりうわ

わかな(若菜) 五九・一〇

わか(ま)つばら(和歌の松原) 五七・三三

わかる(別る)〔ラ下二〕

わか(れ)連用) 四七

↓たちわかる

わか(れ)別れ) 一七・一七・三三

わきかへる(湧返る)(ラ四)

わきかへり(連用) 四三・四四

わく(分)(カ四)

わか(未然) 二・六四〇

わく(分)(カ下二)

わけ(未然) 五二六

わけ(連用) 三〇

わくる(連体) 三三四

↓ふみわく

わく(湧)(カ四)

わき(連用) 四三

わく(終止) 六二

わくらばに(副) 五四

わけゆく(分け行く)(カ四)

わけゆく(連体) 二七九

わする(忘る)(ラ四)

わすら(未然) 四〇

わする(忘る)(ラ下二)

わすれ(未然) 三三・一〇九

わすれ(連用) 五九七

わする(終止) 五二・六二

わする(連体) 四三

↓うちわする

わすれがたみ(忘れ形見) 三九(忘れ難み)と

かける

わすれがたみ(忘れ難み) 三九(忘れ形見)と

かけき

わすれかぬ(忘れ兼ね)(ラ下二)

わすれかね(連用) 四二

わたくし(私) 六三

わたす(渡す)(サ四)

わたせ(已然) 二五

↓みわたす

わたつうみ(渡津海) 五〇・五五・六二

わたのはら(和田の原) 三三・三三

わたり(渡り) ↓かこのわたり・さのの

わたり・やすのわたり・るでのわたり

わたる(渡る)(ラ四)

わたら(未然) 一〇七・三七・三九・三九・四九

わたる(連体) 二五

わたれ(已然) 五二

↓おもひわたる・ききわたる・こひわた

る・こほりわたる・さえわたる・た

ちわたる・なきわたる

わびし(侘し)(形シク)

わびしかり(連用) 三三・四三・五二

わびし(終止) 一七

わびしき(連体) 三三

わびしけれ(已然) 三三

わぶ(侘ぶ)(バ上二)

わぶ(連用) 三七・四九

わぶ(終止) 二〇

わぶる(連体) 六〇

↓くゆりわぶ・こえわぶ・こひわぶ・さ

えわぶ・なげきわぶ・もらしわぶ

わらび(蕨) ↓ざわらび

わる(割る)(ラ下二)

われ(連用) 六四

われ(我) 四・四六・六六・七二・四・七二・九

・三〇・三二・三九・四三・四三・四四

・四七・四八・五〇・五〇・五〇・五二・五九・五九

・五九・五九・六〇・六二・六九

る

る(井) 五・四二 ↓いたる

る(居) ↓いへる・ながるす・まどるす

るで(井手) 一〇・一〇

るでのわたり(井手の渡) 六

るなの(猪名野) 五

る(居る)(ラ上二)

る(連用) 三六

をみる(運体) 四六・三六・三七・三四・三七・三〇

・三六・三三・四七・三〇・六三

↑おきみる・ちりみる

を

を(緒) 一六

を(格助) 三八・二四・二五・三〇・三九・四〇・四一・四二

・五三・五六・六〇・六三・七〇・七九・九二

一六・二八・三三・三三・三九・三九・三四

・三五・三九・四三・五三・五九・六六・六六

・七〇・七六・七七・九〇・九四・九五・九六

・一〇〇・一〇〇・一〇五・一〇六・一一三・一一三・一一三

・一一五・一二八・一二九・一四七・一四九・一五〇

・一五五・一六八・一七四・一七九・一九四・一九五

・二〇二・二〇四・二三五・二三五・二五三・二五三

・三三〇・三三〇・三三〇・三五〇・三五三・三五三・三五三

・三七七・三七五・三七九・三八二・三八二・三八七・三八八

・三九三・四一五・四三三・四三三・四三三・四三三・四三三

・四二六・四二六・四三八・四三九・四四四・四四四・四四四

・四四三・四四三・四四七・四四八・四四八・四四八・四四八

・四七〇・四七三・四七三・四七九・四八二・四八四・四八六

・四八八・四九三・四九四・四九五・四九七・五〇〇・五〇〇

・五〇六・五二二・五三九・五四六・五五三・五五三・五五三

・五六一・五六一・五六一・五六一・五七五・五七五・五七五

五七九・五八四・五九一・五九三・五九五・五九九・五九九

五九一・六〇〇・六〇二・六〇七・六〇八・六〇九・六二二

六二六・六六六・六六三・六六四・六六五・六六四・六六六

六三九・六四四・六五三・六五三・六六〇・六六一

を(接助) 五三・二五・三九・二七・四六五

を(間助) 二七・六四

をか(岡) ↓かたをか

をがは(小川) 三〇三 ↓せみのをがは

をかべ(岡辺) 三七三

をき(狄) 二五・七五・一六六・四八一

をぐらやま(小倉山) 三三三・三三六

をざさばら(小笹原) 二〇五・三六五・四七・四六四

をし(惜し)(形シク)

をし(終止) 二九・八三・六九(雄鳥とかける)

をし(運体) 二七三

をしけれ(已然) 四〇六

をし(か)(牡鹿) 四〇 ↓さをしか

をし(げ)(惜し(げ)) 六九

をし(ま)(雄鳥) 三九(惜しとかける)

をし(み)(惜し(み)) 五三・六三・七〇

をし(み)(惜し(み)(来)) (力変)

をし(み)(未然) 二七・五三

をし(む)(惜し(む)) (マ四)

をし(ま)(未然) 一四八

をし(む)(終止) 二六

をだ(小田) 三三一

を(ち)(遠) 五〇・四元

を(も)(このも)(遠面此面) 六四九

を(と)(こやま)(男山) 三三三

を(の)(小野)(普名) 一七六・二五三

を(の)(小野)(岡名) 二〇〇

を(の)(尾上) 四三・五三・三三〇・三三一

を(の)(の)(みや)(尾上の宮) 一六三

を(は)(す(て)(姨捨) 三三三

を(は)(す(て)(やま)(姨捨山) 二四一

を(お)(ね)(小舟) 六〇四 ↑あまをぶね

を(み)(な)(へ)(女郎花) 一九四・一九五

を(り)(折) 六四

を(り)(居(り))(ラ変)

を(れ)(已然) 二三三・六三三

を(る)(折る)(ラ四) ↑うらぶれをり・おもひをり

を(ら)(未然) 一〇〇・一〇八・一九五

を(り)(連用) 六四

を(る)(連体) 二五三

を(れ)(ふ(す)(折れ伏す)(サ四)

を(れ)(ふ(す)(連体) 一三三